DPCについて

DPCとは何か？

「DPC(Diagnosis Procedure Combination)」とは、
- 平成15年4月に特定機能病院等に導入された
- 急性期入院医療の
- 診断群分類に基づく
- 1日当りの包括評価制度

✓もともとは、「診断群分類」を意味する英語の固有名詞として使用

DPC制度の対象病院

- DPC対象病院（DPCによる支払の対象）
  - 平成15年　～　82病院（特定機能病院等）
  - 平成16年　～　62病院
  - 平成18年　～　216病院
  - 平成20年　～　358病院
  - 計　718病院
- DPC準備病院（DPCによる支払の対象外）
  - 710病院

DPCにおける診療報酬の算定方法

- 包括評価制度における診療報酬の額

診療報酬　＝　包括評価部分＋出来高評価部分

- 包括評価部分
  - ✓入院基本料、検査（一部を除く）、投薬、注射、等
  - ✓「診断群分類」毎の1日当たりの包括評価
  - ✓医療機関別係数による評価・調整

  包括範囲点数
  ＝　診断群分類毎の1日当たり点数×医療機関別係数×在院日数
- 出来高評価部分
  - ✓手術料、麻酔料、等
  - ✓「医科点数表」に基づいた評価

医療機関別係数について

医療機関別係数は，機能評価係数と調整係数から構成されている。

医療機関別係数　＝　機能評価係数＋調整係数

○　機能評価係数

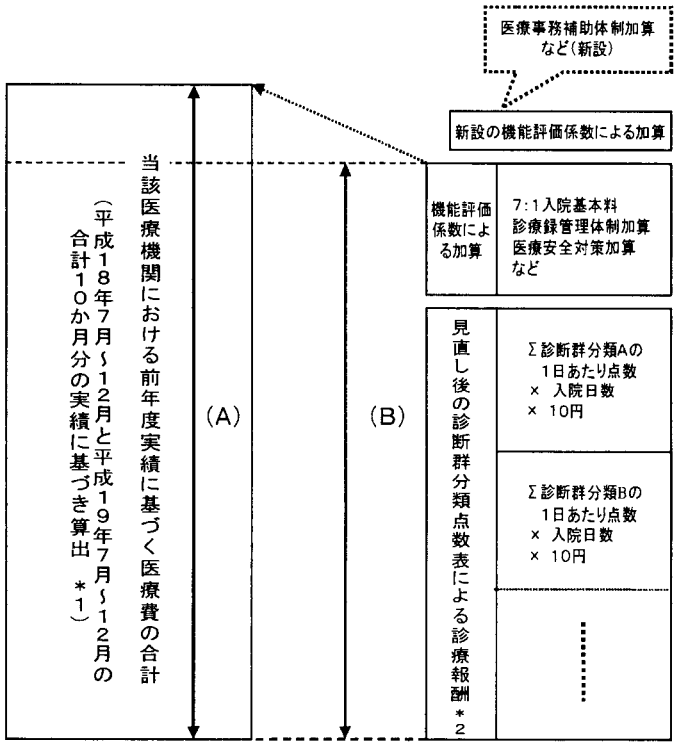
◇　医療機関の機能を評価するための係数であり，入院基本料等加算等を係数にしたものである。

- 入院時医学管理加算　0.0299
- 医療安全対策加算　0.0015
- 地域医療支援病院入院診療加算　0.0321　等

○　調整係数

◇　医療機関の前年度実績を担保するための調整係数であり，診断群分類による包括評価に係る医療費が平成18年7月～12月と平成19年7月～10月の医療費の実績に平成20年度診療報酬改定を一部反映させたものと等しくなるように，医療機関ごとに設定されている。

医療機関別係数の計算方法について



前年度の医療費の実績に基づき設定する医療機関別係数
＝（A）×（1＋改定率）／（B）

医療機関別係数　＝　調整係数　＋機能評価係数

＊1　前年度実績に基づく医療費の合計には、平成20年度診療報酬改定が一部反映されたものとなっている。

＊2　見直し後の診断群分類による診療報酬については、当該医療機関における平成18年7月～12月と平成19年7月～10月の入院実績に基づき算出している。

DPCデータについて④

様式1（イメージ）

データ識別番号	入院年月日	退院年月日	医療資源病名	ICD10	化学療法の有無
0100000001	20080701	20080710	腎盂癌	C65	1
0100000002	20080701	20080715	巣癌	C56	1
0100000003	20080702	20080709	宮肉腫	C542	0
0100000004	20080702	20080710	型慢性肝炎	B182	0
0100000005	20080702	20080720	状結腸癌	C187	1
0100000006	20080703	20080711	総胆管結石	K805	0
0100000007	20080704	20080712	型慢性肝炎	B182	0
0100000008	20080706	20080716	肝細胞癌	C220	1
:	:	:	:	:	:

DPCデータについて⑤

Eファイル、Fファイル（イメージ）

Eファイル

データ識別番号	退院年月日	入院年月日	データ区分	診療行為名称	行為点数
0000000010	20080710	20080720	33	ソリタT3号 500ml	483点

Fファイル

データ識別番号	退院年月日	入院年月日	データ区分	診療行為名称	使用量	薬剤料
0000000010	20080710	20080720	33	ソリタT3号 500ml	2瓶	390円
0000000010	20080710	20080720	33	チェナム点滴用500mgキット	2キット	4300円
0000000010	20080710	20080720	33	ビタメジン静注用	1瓶	140円

DPCデータについて⑥

Eファイル、Fファイル（イメージ）

<Eファイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト電算処	解釈番号	診療行為名称	行為点数	行為薬剤	行為材料	円・点区分	行為回数	実施年月日
60	0013	160017410 D0071	TP	129	0	0	0	1	20030703
60	0014	160008010 D0056	末梢血液一般	22	0	0	0	1	20030704
60	0015	160008210 D0055	尿	18	0	0	0	1	20030704
60	0016	160054710 D0152	CRP(定量)	16	0	0	0	1	20030704
60	0017	160017410 D0071	TP	109	0	0	0	1	20030704
60	0018	160060010 D101	病理組織標本作製	150	0	0	0	1	20030703
60	0019	160155110 D104	病理診断料	410	0	0	0	1	20030703
60	0020	160008010 D0056	末梢血液一般	22	0	0	0	1	20030702
60	0021	160008210 D0055	尿	18	0	0	0	1	20030702
60	0022	160054710 D0152	CRP(定量)	16	0	0	0	1	20030702

Eファイルではダミーコード不可
Fファイルの行為コードをセットする。行為がない場合は薬、材料コードをセットする。

実施した明細行為を全て書き出す

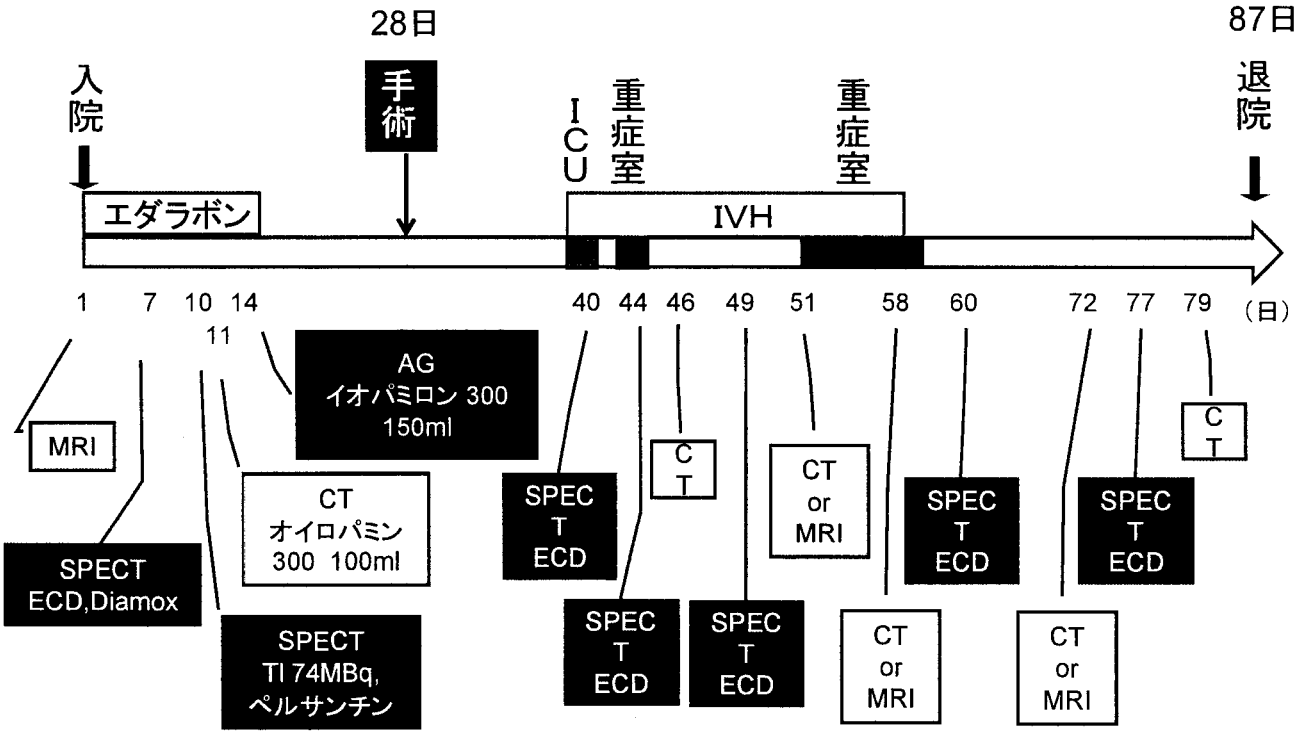
<Fファイル>

F-5	F-6	F-7	F-9	F-10	F-11	F-12
データ区分	順序番号	行為明細	レセプト電算コード	解釈番号	診療明細名称	使用量
60	0013	001	810000000 Null		生化学的検査(I)（10項目以上）	0
60	0013	002	160017410 D0071		TP	0
60	0013	003	160019010 D0071		BUN	0
60	0013	004	160019210 D0071		クレアチニン	0
60	0013	005	160019510 D0072		LDH	0
60	0013	006	160021110 D0071		Na及びCl	0
60	0013	007	160021410 D0071		K	0
60	0013	008	160021510 D0071		Ca	0
60	0013	009	160022210 D0071		Mg	0
60	0013	010	160021810 D0075		P及びHPO4	0
60	0013	011	160022510 D0075		GOT	0
60	0013	012	160022610 D0075		GPT	0
60	0014	001	160008010 D0056		末梢血液一般	0
60	0015	001	160008210 D0055		尿	0
60	0016	001	160054710 D0152		CRP(定量)	0
60	0017	001	810000000 Null		生化学的検査(I)（8項目又は9項目）	0
60	0017	002	160017410 D0071		TP	0
60	0017	003	160019010 D0071		BUN	0
60	0017	004	160019210 D0071		クレアチニン	0
60	0017	005	160022510 D0075		GOT	0
60	0017	006	160022610 D0075		GPT	0
60	0017	007	160021110 D0071		Na及びCl	0
60	0017	008	160021410 D0071		K	0
60	0017	009	160019510 D0072		LDH	0
60	0017	010	160019410 D0072		グルコース	0
60	0018	001	160060010 D101		病理組織標本作製（1臓器につき）	0
60	0018	002	160096210 D414		内視鏡下生検法	1
60	0019	001	160155110 D104		病理診断料	0
60	0020	001	160008010 D0056		末梢血液一般	0
60	0021	001	160008210 D0055		尿	0
60	0022	001	160054710 D0152		CRP(定量)	0

DPCデータについて⑦

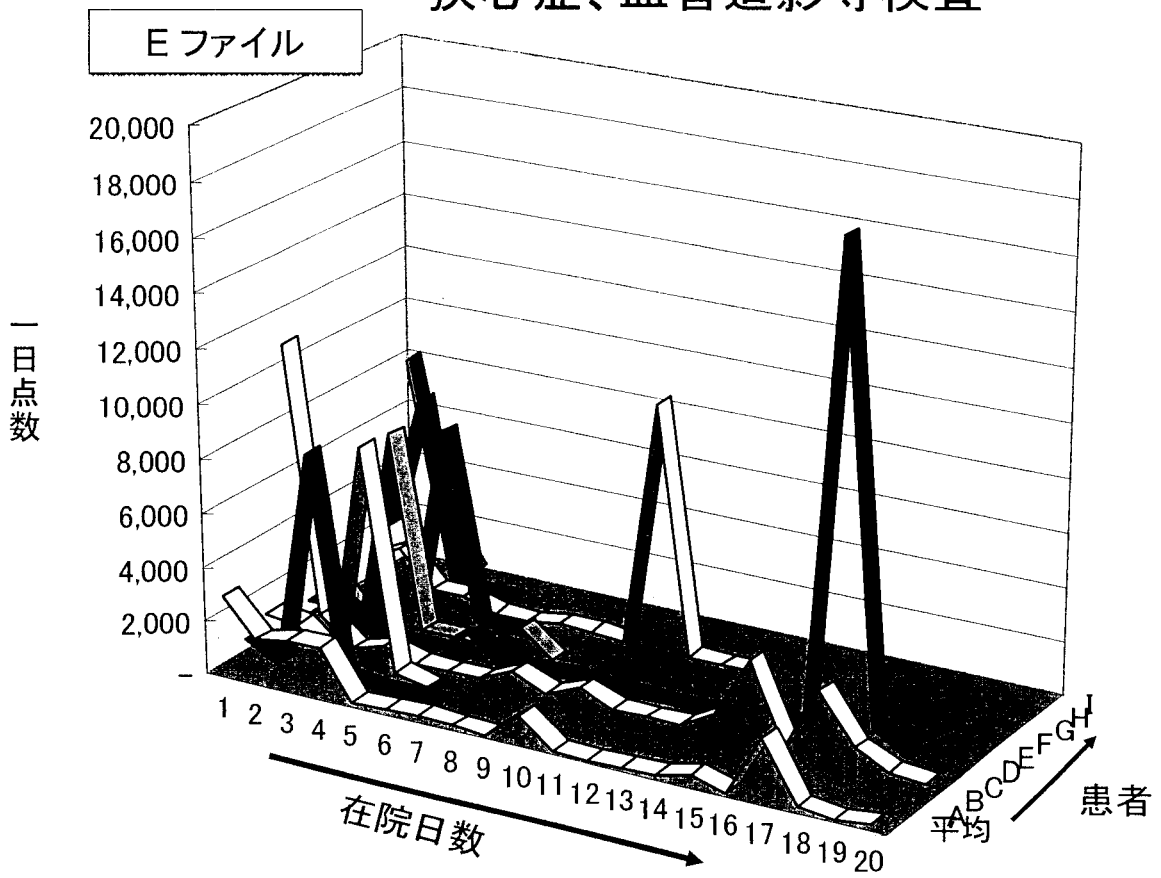
DPCデータをもとに診療プロセスが分析できる

例： 80代女性、両側内頸動脈狭窄症
入院時JCS 0、救急搬送なし、自宅退院



DPCデータについて⑧

狭心症、血管造影等検査

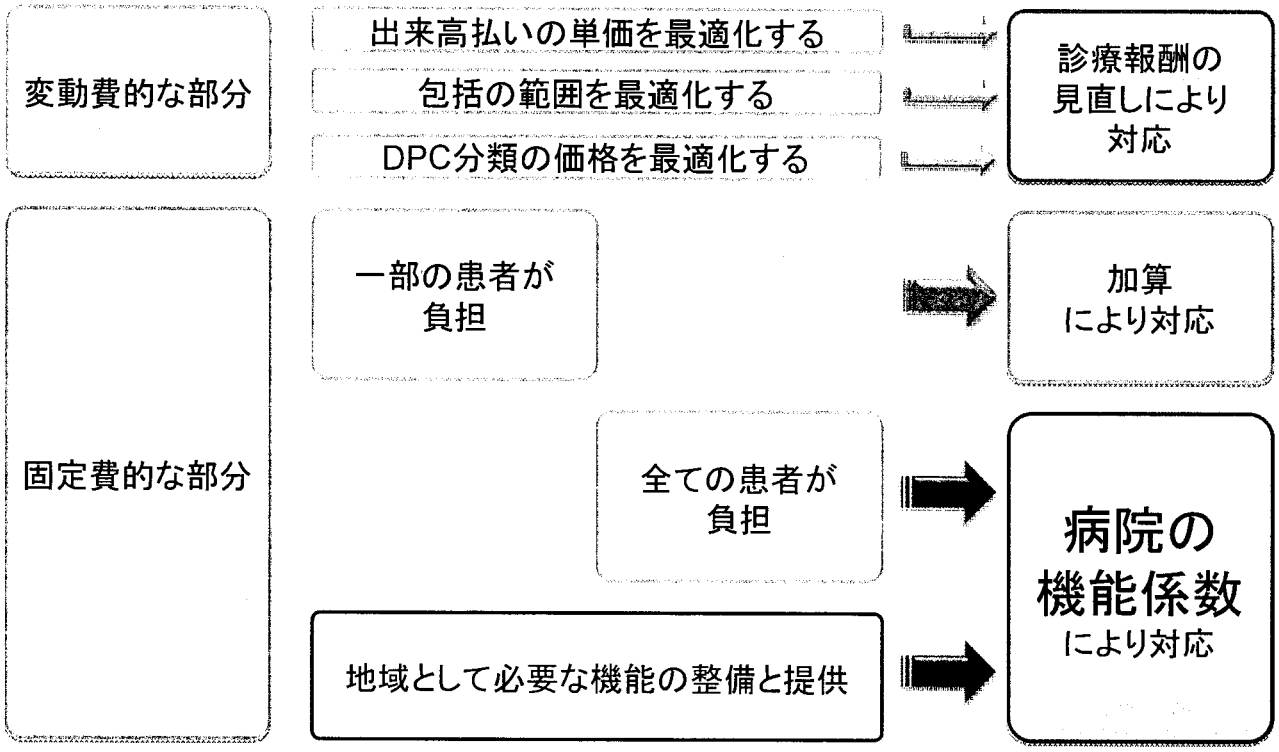


診調組 D－2
20．10．3

病院機能係数の考え方について②

「包括払い方式が医療経済及び医療提供
体制に及ぼす影響に関する研究」班
（H19-政策-指定-001）

支払いを最適化するための方策（案）



機能評価係数検討の具体的作業

データの集計
- 具体的な指標・項目を定めて集計を行う
- データの品質（特に診療情報）を確認する

ばらつきの分析
- 指標ごとの「ばらつき」を分析する
- 指標間（特に施設の外的基準など）の関連性について分析する

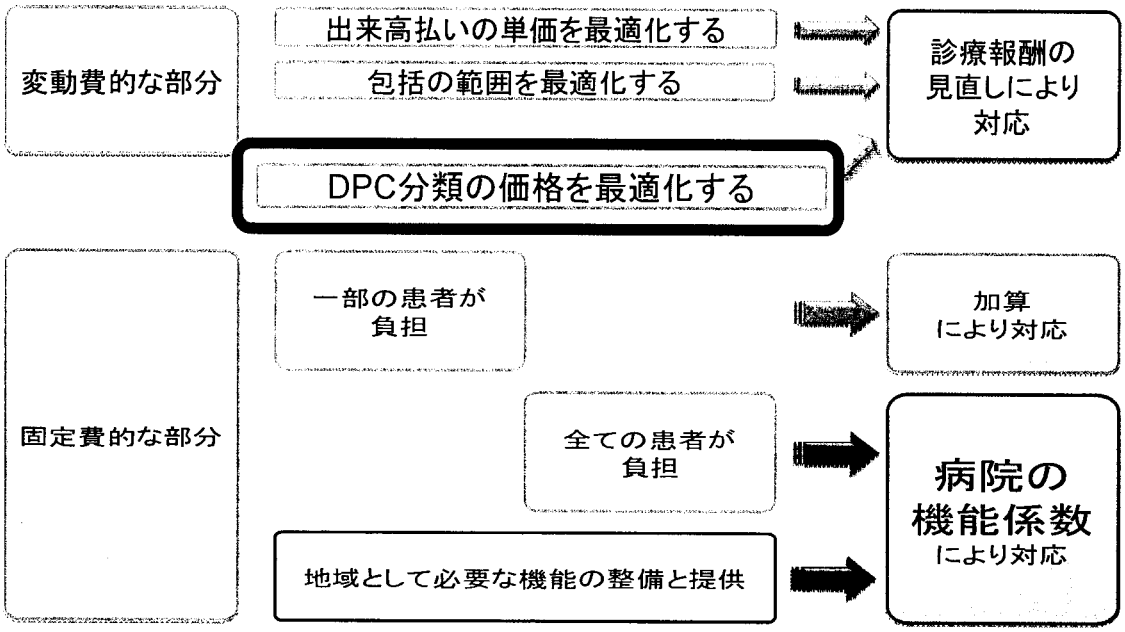
評価方法の検討
- 適切な対応方法を選択する
  - 診療報酬の見直し
  - 機能係数、加算、その他の方法による評価

コストをどう反映するのか？ベースとなる財務諸表の精度向上が鍵

現在研究班で検討している項目の例

プロセス	• プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法 • 診療プロセスの「妥当性」の評価 • 包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など
ケースミックスとパフォーマンス	• 複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」 • 効率よい診療を評価する「効率性指標」 • 稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」 • 重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）
ストラクチャー（構造）	• 施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査 • 望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理… • 診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…
地域での役割（貢献度）	• 患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術… • 4疾病・5事業への対応状況

DPC分類の最適化について



DPC分類の最適化について①

DPC分類の改善について

- DPC分類の目標
  - 分類により、医療資源の投入量を予測する
- 予測の対象とする尺度
  - 入院日数 および 医療費用(コスト)
- 予測のために利用する2つの軸
  - 疾患(患者)の違い および 診療行為の違い
- 具体的な改善の方向性
  - 予測精度を向上させる …… 精緻化
  - より少ない分類で同等な効果を得る…… 簡素化

DPC分類での医療資源予測

予測に利用する情報		予測値への影響
疾患（患者）	医療資源を最も投入した傷病名	最も基本的な情報として、日数・コストの双方に影響
	年齢・出生体重等	診療行為の選択に影響 →行為の有無を通じてコストに影響
	副傷病 重症度	年齢・副傷病・重症度等の組み合わせ →療養に必要な日数に影響
診療行為	手術	行為の有無 →コストに直接影響
	手術・処置等1 手術・処置等2	行為の組み合わせパターン →治療に必要な入院日数に影響

分類の技法：診療行為の違い

- 治療に関する分類軸の使い分け
  - 治療の要となる手術 → 手術
  - 補完的な手術・処置 → 手術・処置等1
  - 侵襲性の高い検査 → 手術・処置等1
  - 生命維持的な治療 → 手術・処置等2
  - がんの集学的治療 → 手術・処置等2

↓

- 新規技術の採用あるいは旧技術の廃止にあわせて見直しが必要

分類の技法：疾患（患者）の違い

- 患者特性の違いに起因する、診療行為選択の変化は、実施された診療行為自体で評価
  - 手術、手術・処置等1および2 の精査により解決
- 療養に必要な日数への影響については、調査データに従って評価
  - 副傷病については系統的な採用ルールあり

↓

- 対応方法が明確なものについては継続的な見直しが不可欠
- 施設内・施設間の診療のバラツキが大きい現状では、細かな患者特性の違いによる影響の評価には限界がある

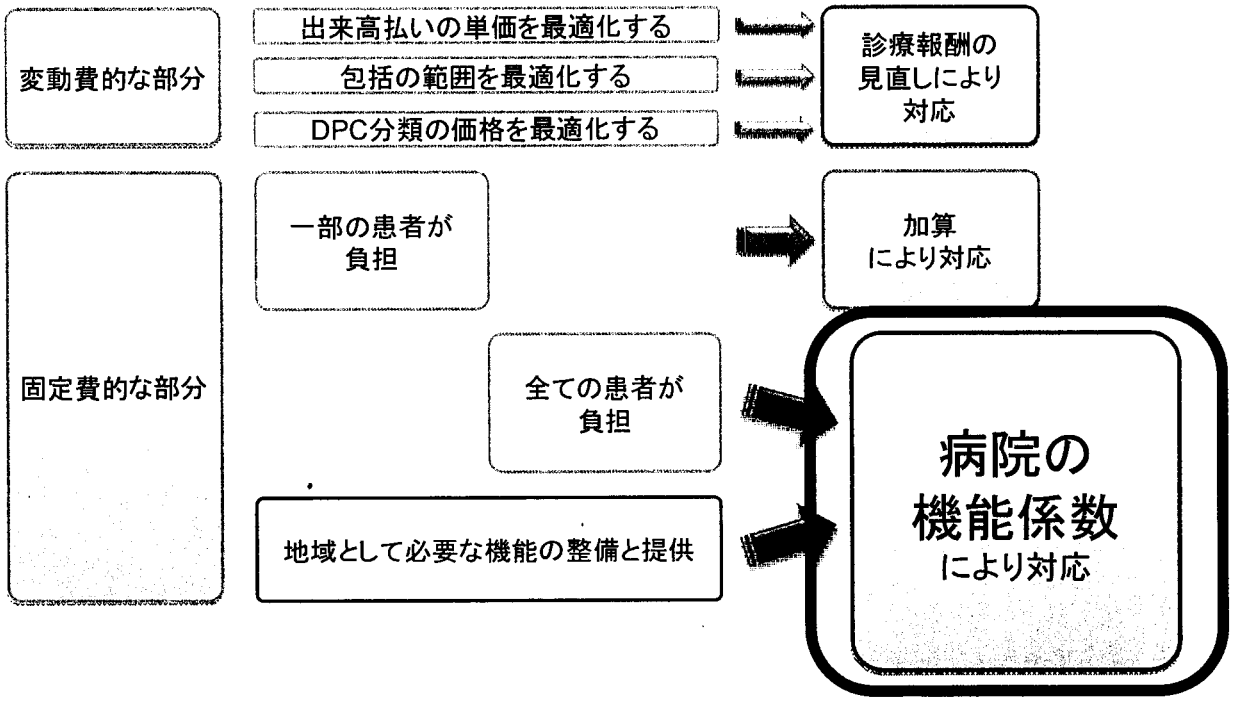
DPC分類改善の作業項目

- DPC6桁分類（医療資源を最も投入した傷病名）の見直し
- 手術、手術・処置等1および2 の見直し
  - 手術のグルーピング（01,02…97）の変更
  - 新規技術の採用と、旧技術の廃止
  - 高額薬剤への対応
- 副傷病の見直し

＋

- 年齢・出生体重等および重症度の見直し

病院機能係数について



現在研究班で検討している項目の例

プロセス	• プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法 • 診療プロセスの「妥当性」の評価 • 包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など
ケースミックスとパフォーマンス	• 複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」 • 効率よい診療を評価する「効率性指標」 • 稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」 • 重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）
ストラクチャー（構造）	• 施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査 • 望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理… • 診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…
地域での役割（貢献度）	• 患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術… • 4疾病・5事業への対応状況

プロセスについて

プロセス	・プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法 ・診療プロセスの「妥当性」の評価 ・包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など
ケースミックスとパフォーマンス	・複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」 ・効率よい診療を評価する「効率性指標」 ・稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」 ・重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）
ストラクチャー（構造）	・施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査 ・望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理… ・診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…
地域での役割（貢献度）	・患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術… ・4疾病・5事業への対応状況

ばらつきについて①

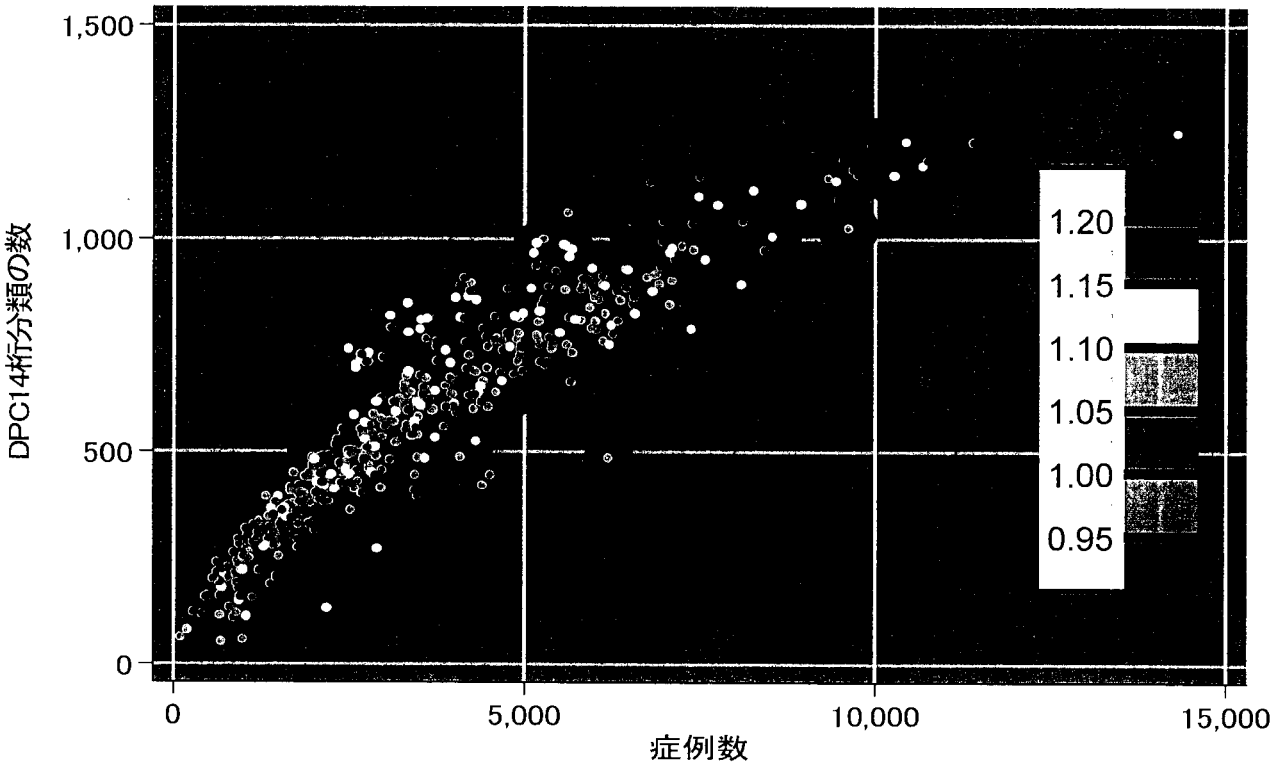
H20調整係数

松田班H19調査参加病院（965施設中549施設）

調整係数	色	病院数	特定機能病院	その他の病院
		30	14	16
1.20				
		44	20	24
1.15				
		111	35	76
1.10				
		154	13	141
1.05				
		167	1	166
1.00				
		38		38
0.95				
		5		5
	小計	549	83	466

ばらつきについて②

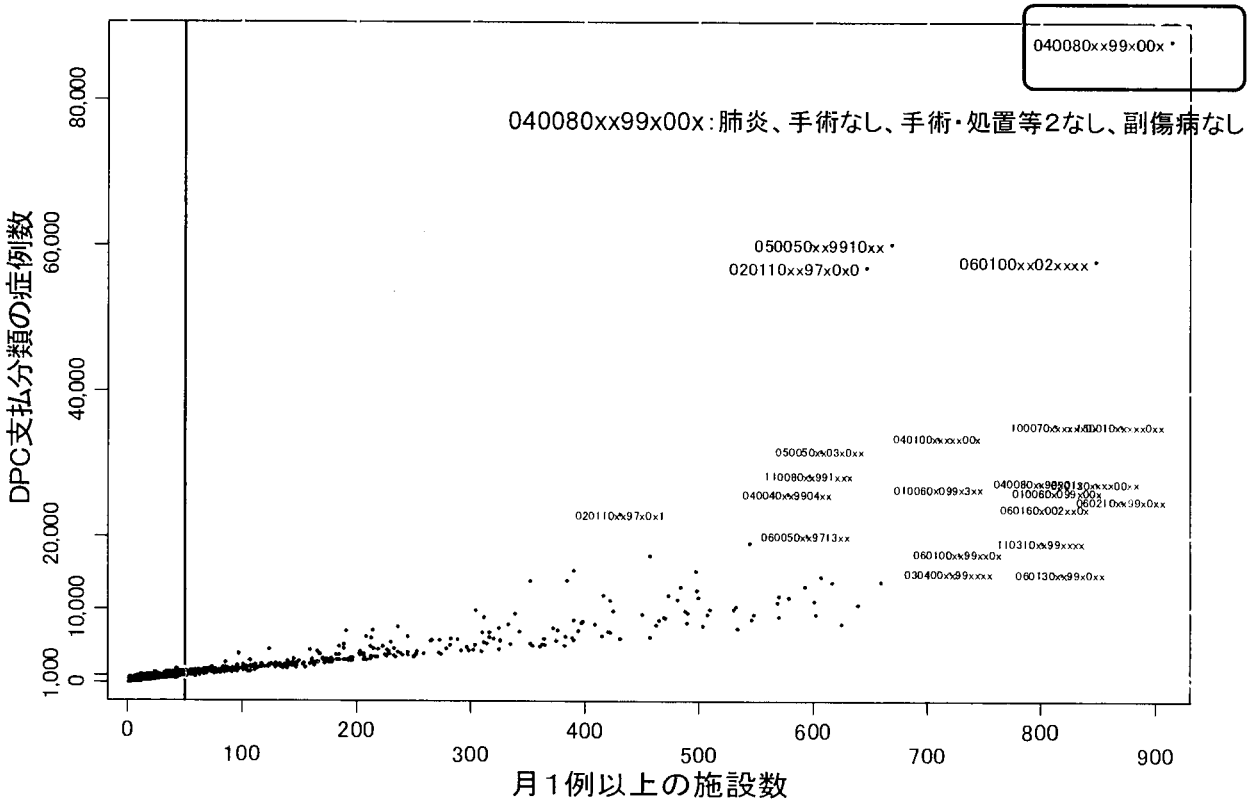
H20調整係数：各病院の症例数と分類数



赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

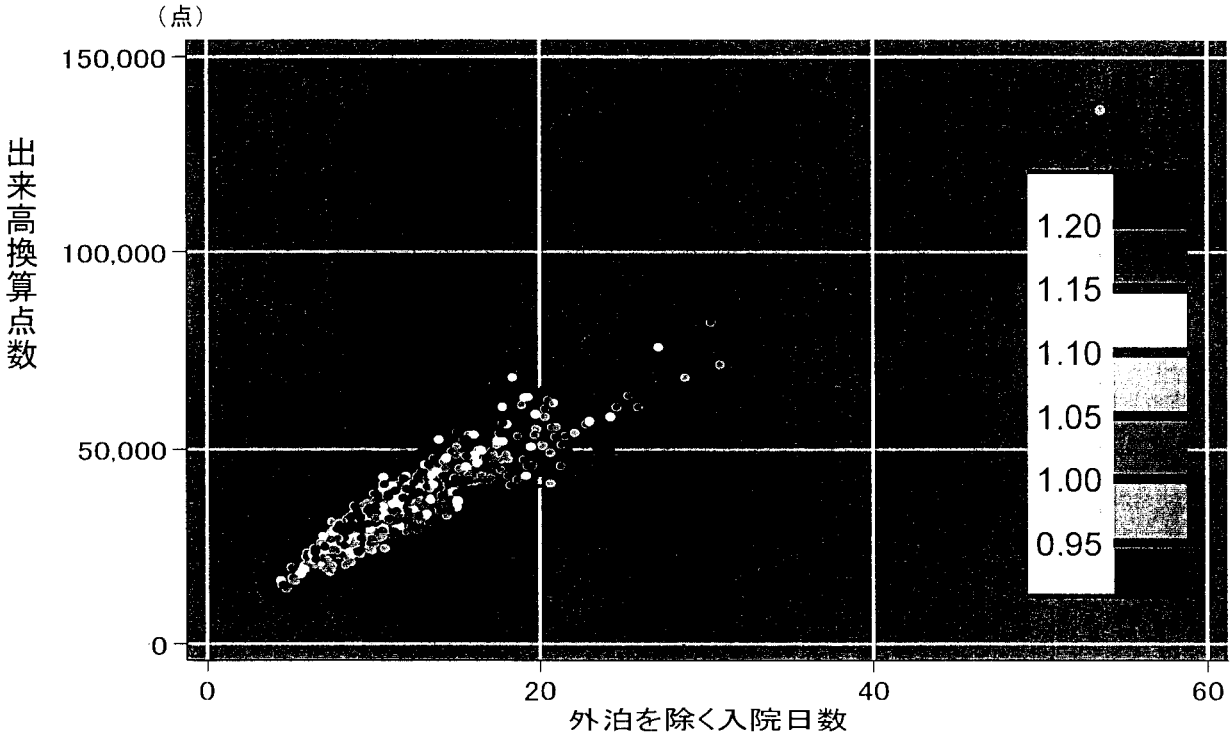
ばらつきについて③

DPC支払分類の算定施設数と症例数



ばらつきについて④

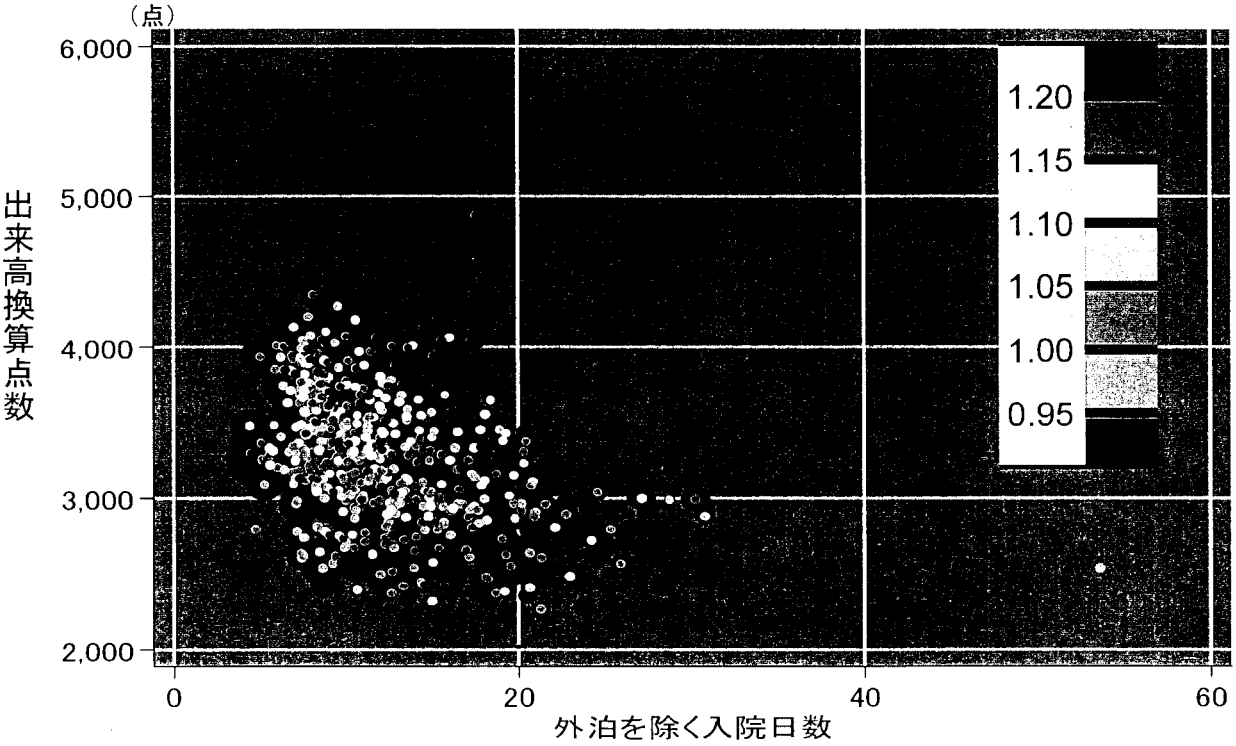
入院日数と1入院当たり包括範囲診療行為
（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）



赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきについて⑤

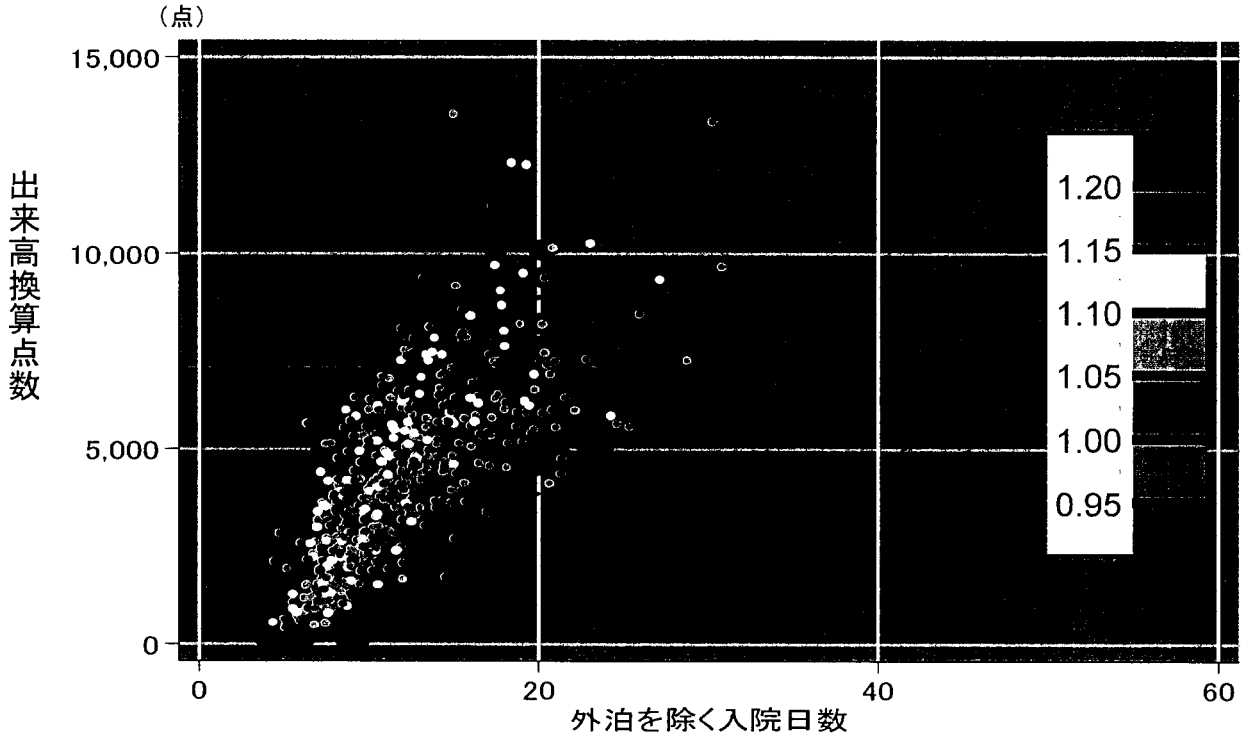
入院日数と1日当たり包括範囲診療行為
（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）



赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきについて⑥

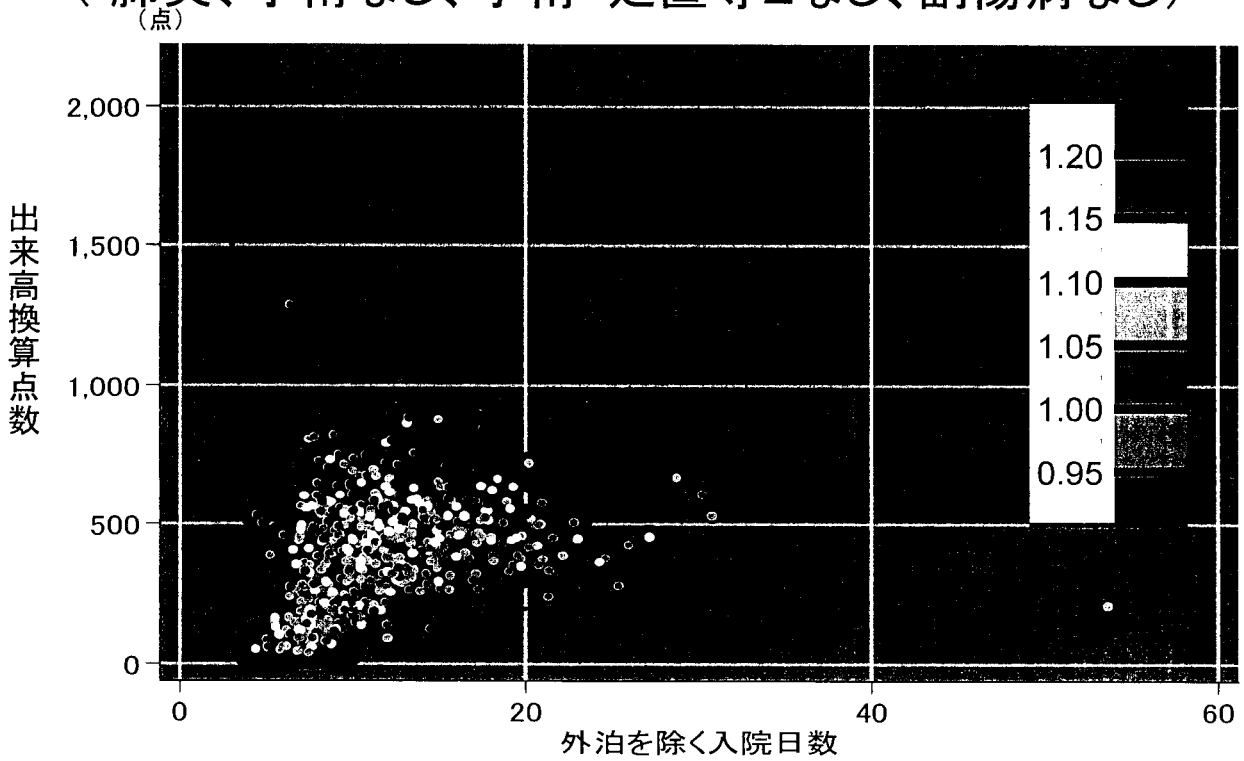
入院日数と1入院当たり検査・画像診断
（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）



赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきについて⑦

入院日数と1日当たり検査・画像診断
（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）

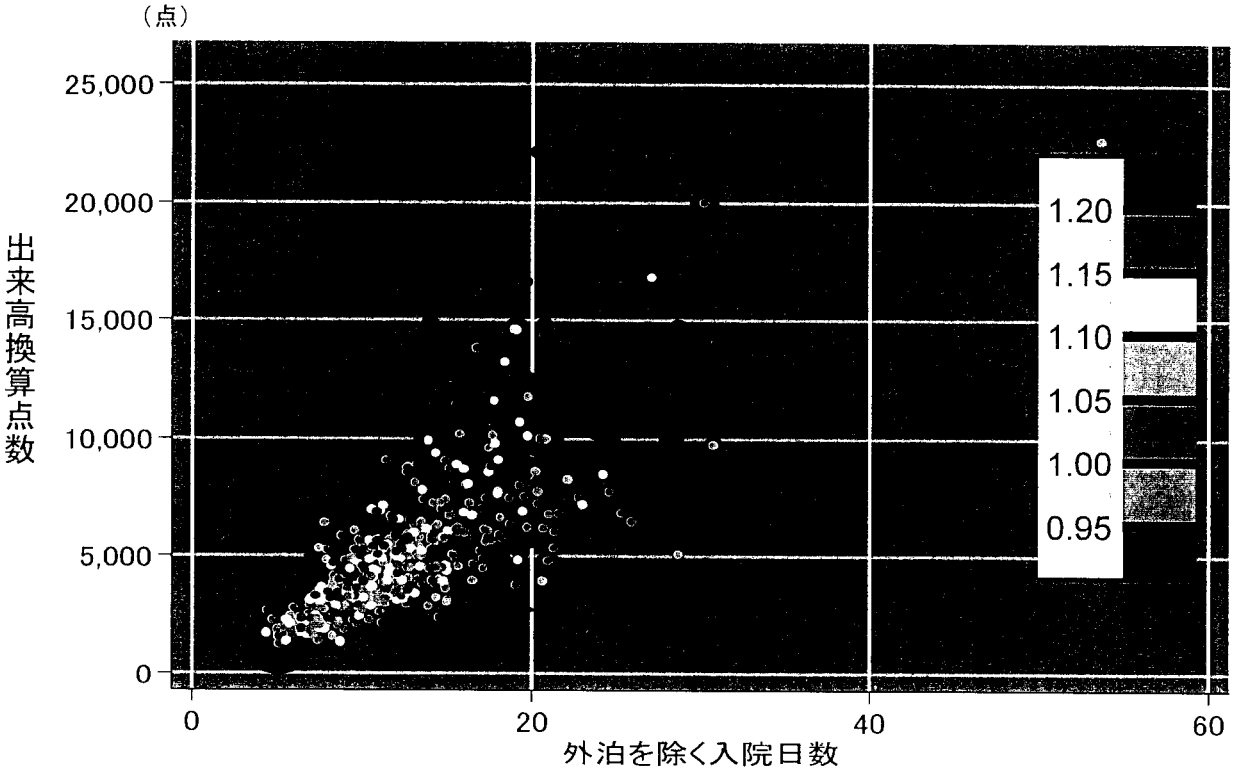


赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきについて⑧

入院日数と1入院当たり薬剤費

（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）

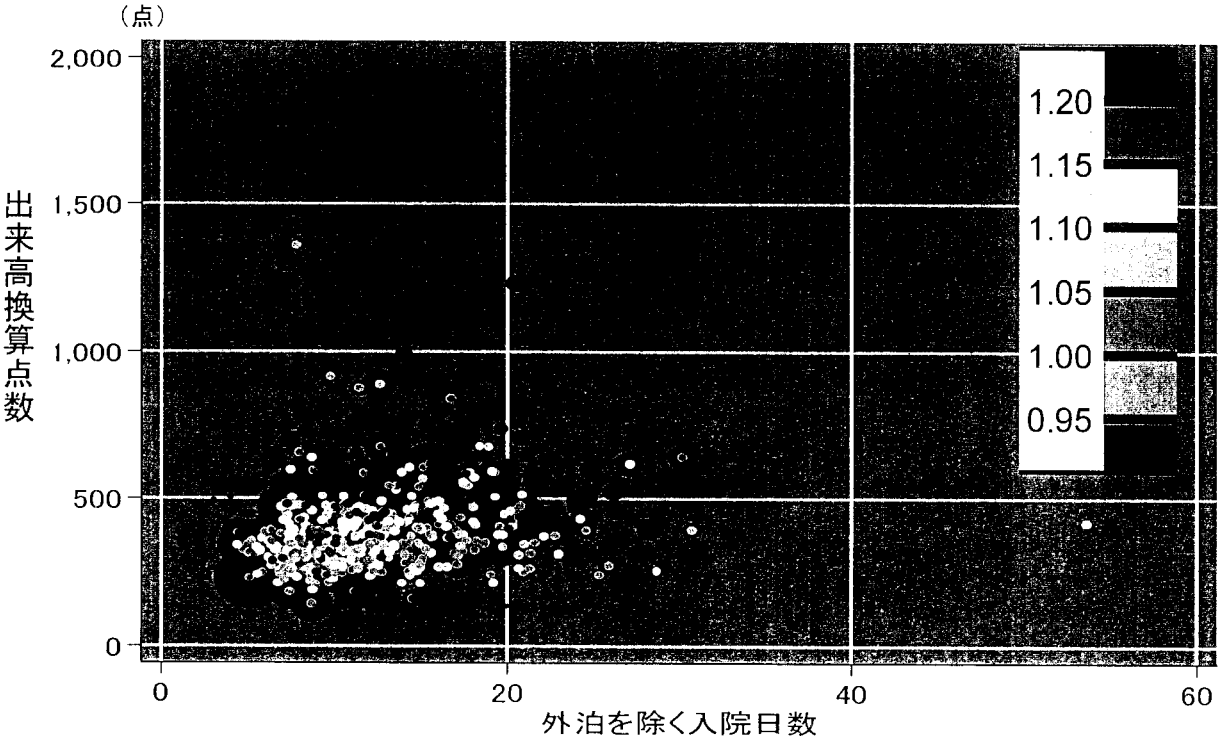


赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきについて⑨

入院日数と1日当たり薬剤費

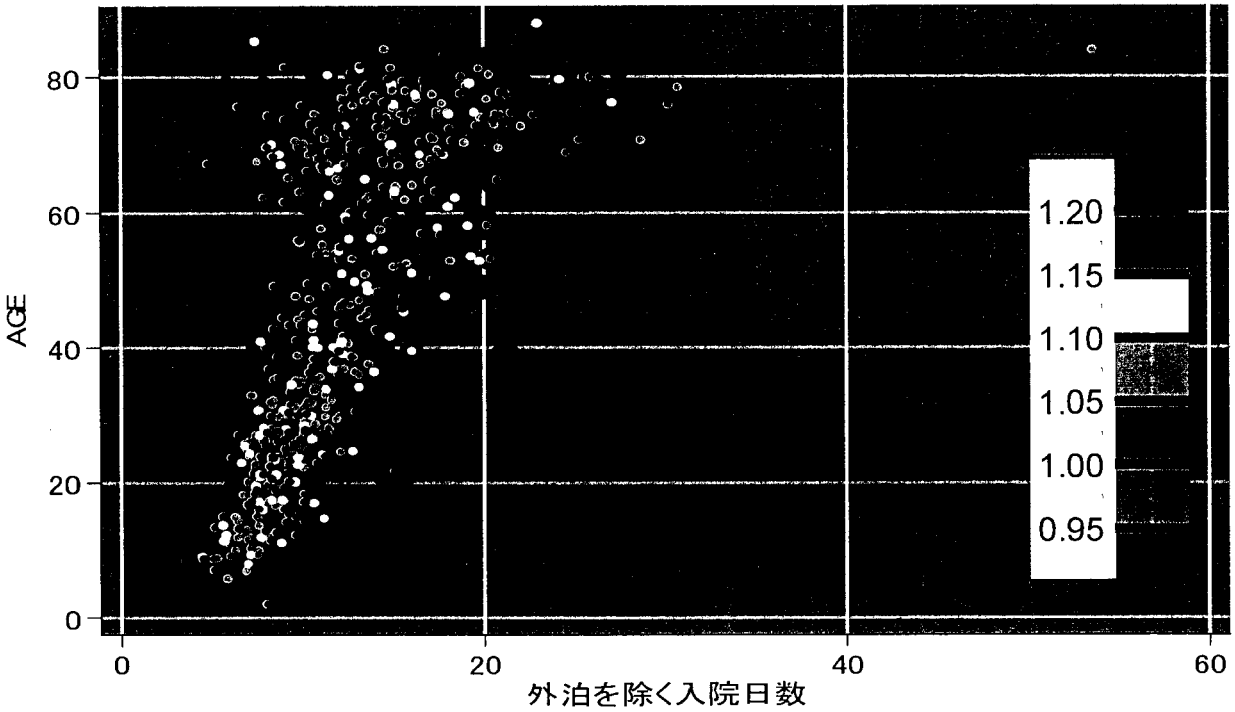
（肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし）



赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

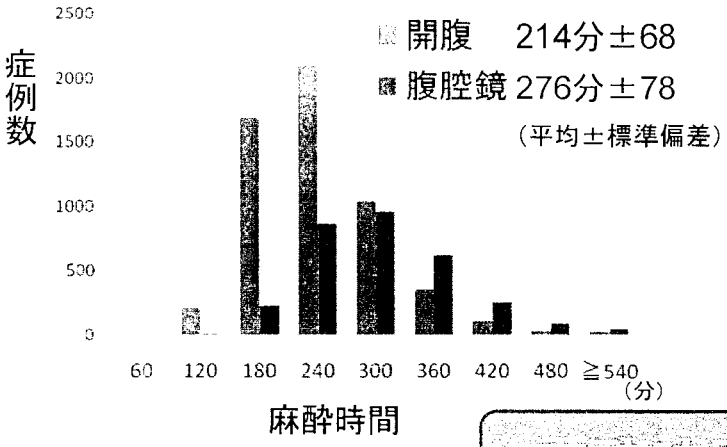
入院日数と平均年齢(AGE)

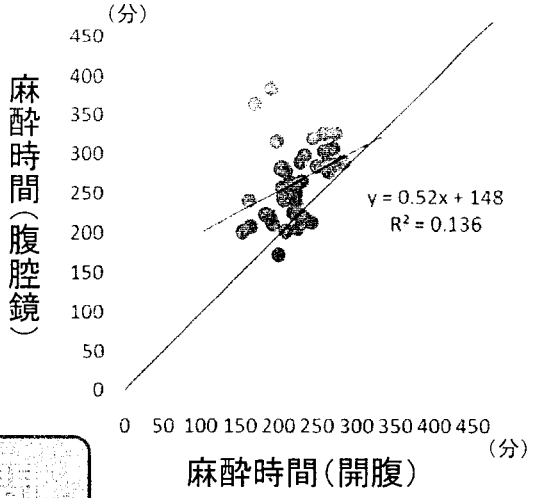
(肺炎、手術なし、手術・処置等2なし、副傷病なし)

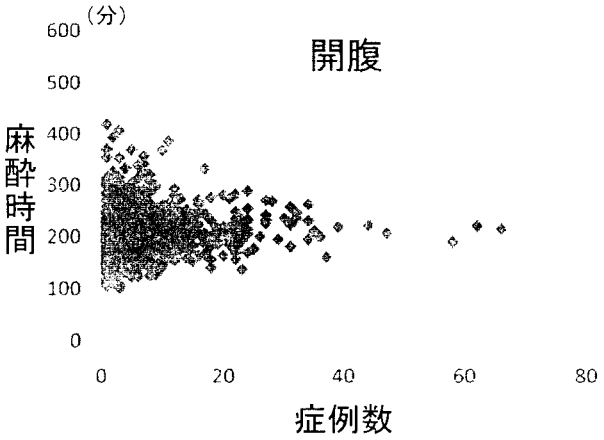


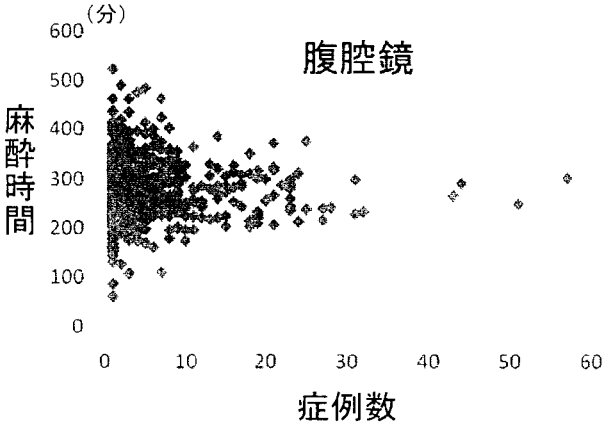
赤(30) /1.20/ 橙(44) /1.15/ 黄(111) /1.10/ 黄緑(154) /1.05/ 緑(167) /1.00/ 水色(38) /0.95/ 青(5)

ばらつきの内容分析①



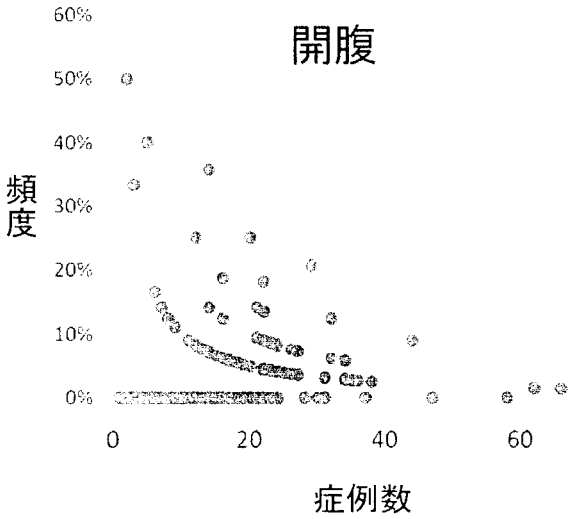


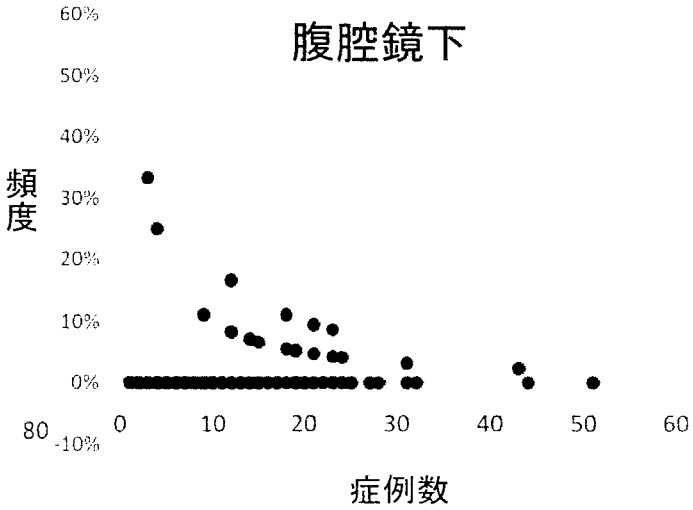




ばらつきの内容分析②

アプローチ	輸血頻度	平均輸血量 (200ml由来換算)
開腹	5.47%	3.2 袋
腹腔鏡下	1.34%	3.5 袋

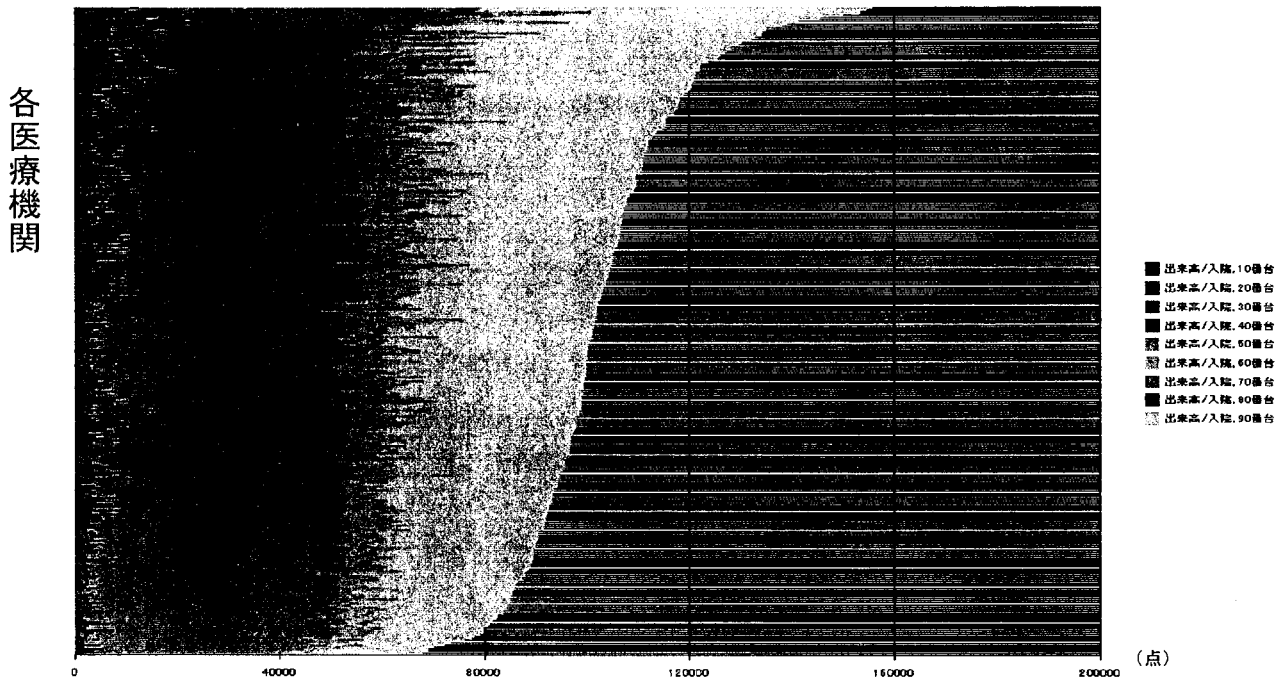




ばらつきの内容分析③

医療機関毎のばらつき（1）

（前立腺の悪性腫瘍　前立腺悪性腫瘍手術あり）

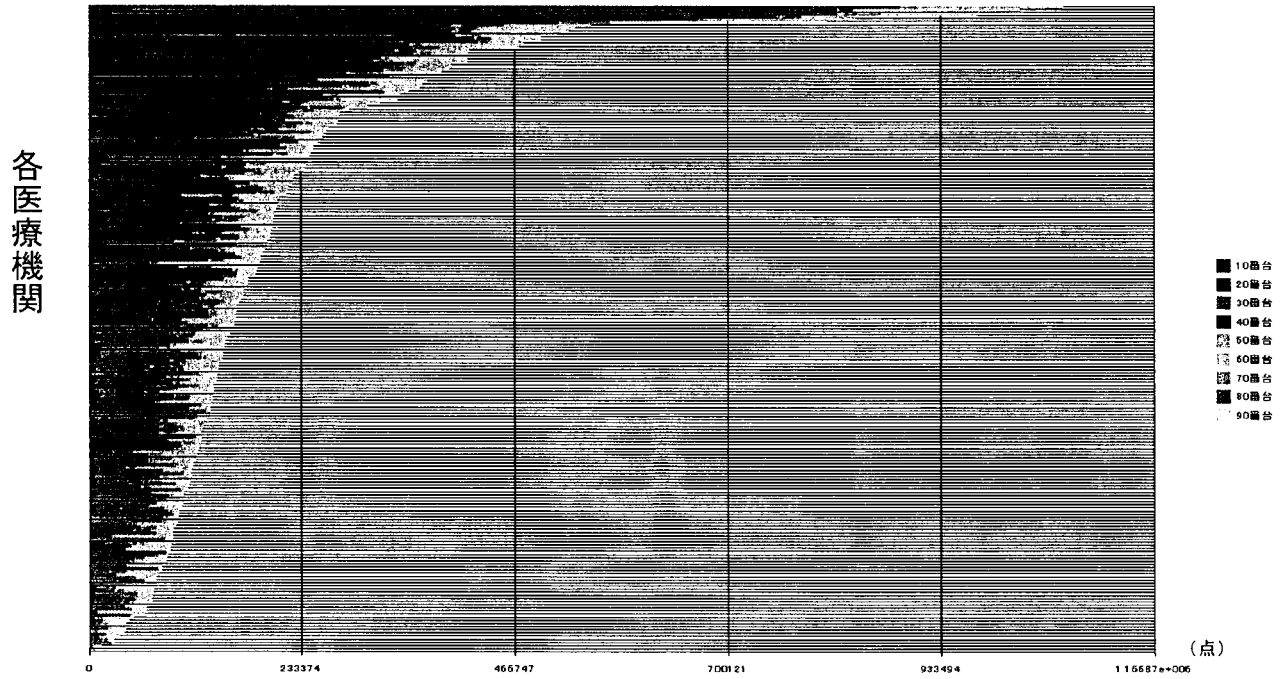


10番台：初再診料、指導、在宅　20番台：調剤、内服等　30番台：注射等　40番台：処置　50番台：手術・麻酔
60番台：検査・病理　70番台：画像診断　80番台：その他　90番台：入院料

ばらつきの内容分析④

医療機関毎のばらつき（2）

（前立腺の悪性腫瘍・手術なし・手術処置等1なし・手術処置等2（化学療法等）あり）



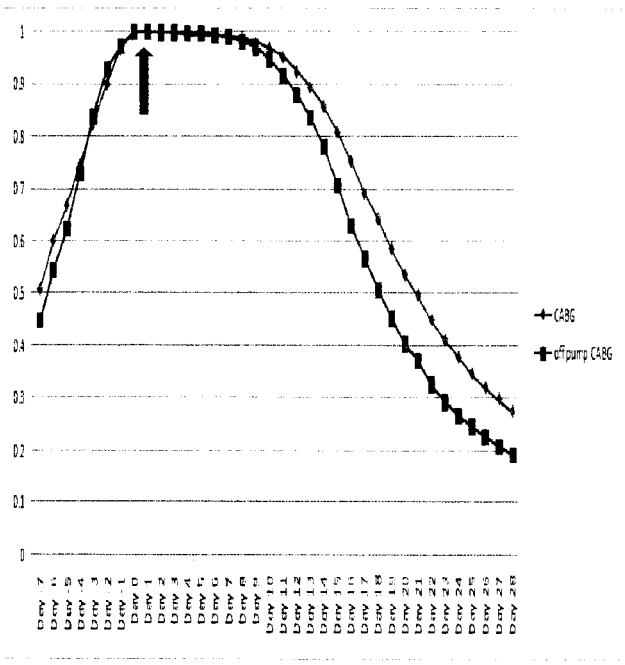
10番台：初再診料、指導、在宅　20番台：調剤、内服等　30番台：注射等　40番台：処置　50番台：手術・麻酔
60番台：検査・病理　70番台：画像診断　80番台：その他　90番台：入院料

ばらつきの内容分析⑤

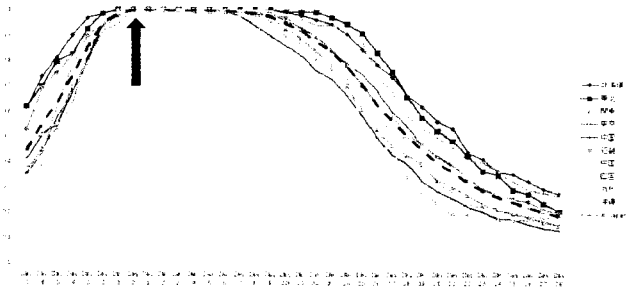
E、Fファイルから見る外科診療プロセスと「医療の質」

手術前後在院患者割合曲線(Day -7 to Day 28) CABG

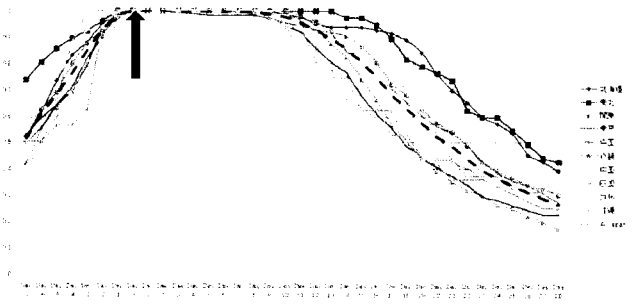
Overall CABG and off pump CABG



Elective off pump CABG (mortal case excluded)



Elective CABG (mortal case excluded)



Excluding cases with concurrent aneurysmectomy or stent insertion for TAA or AAA

CABG:冠動脈大動脈バイパス移植術、TAA:弓部大動脈瘤、AAA:腹部大動脈瘤

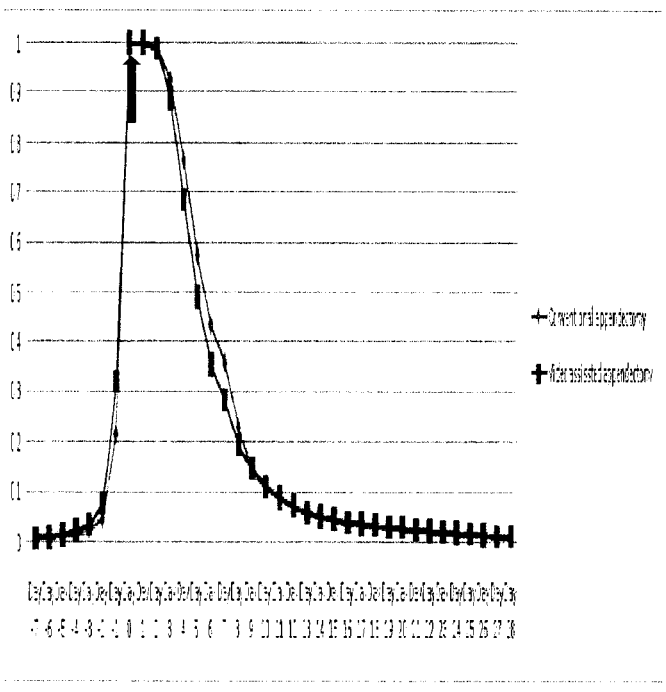
ばらつきの内容分析⑥

E、Fファイルから見る外科診療プロセスと「医療の質」

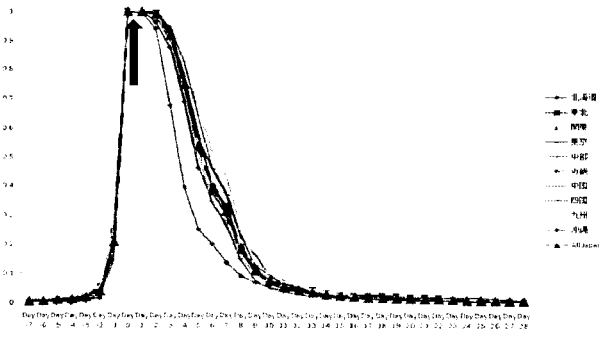
手術前後在院患者割合曲線(Day -7 to Day 28) Appendectomy

1. Overview of appendectomy
2. A look of regional variation (conventional appendectomy with or without CC)

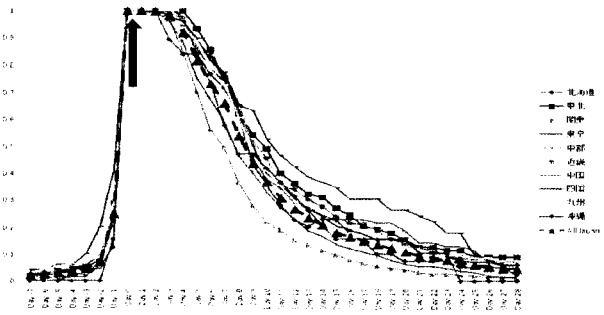
CC:Co-morbidity Complication 併存症　続発症



Without CC



With CC

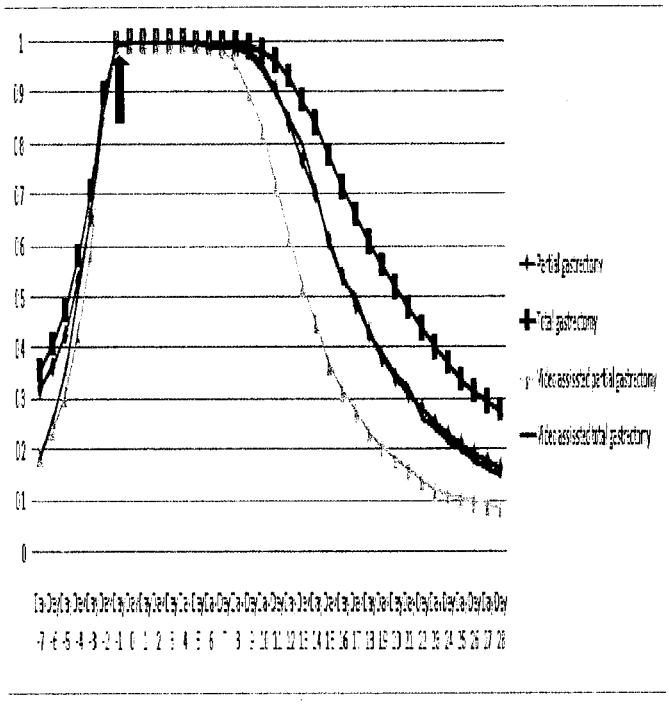


ばらつきの内容分析⑦

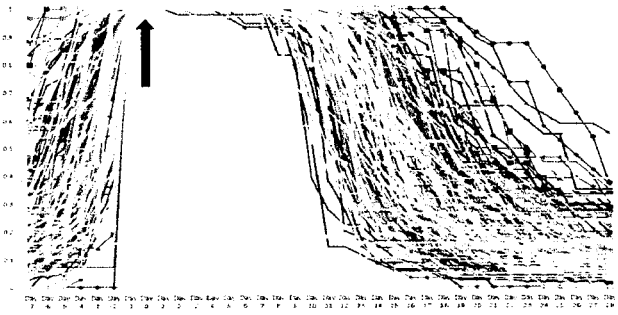
E、Fファイルから見る外科診療プロセスと「医療の質」

手術前後在院患者割合曲線(Day -7 to Day 28) gastrectomy for gastric cancer

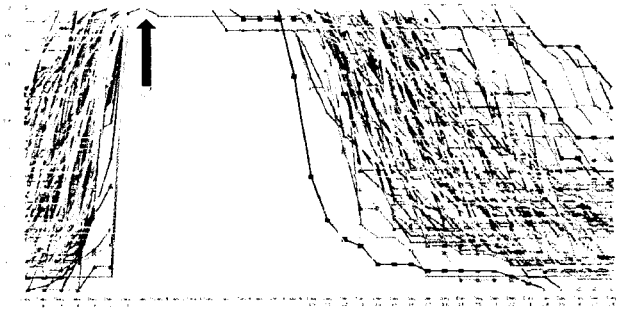
1. Overview of gastrectomy
2. A look of hospital variation (partial gastrectomy ≥18, total gastrectomy ≥12 cases / 6months)



Partial gastrectomy (164 hospitals)



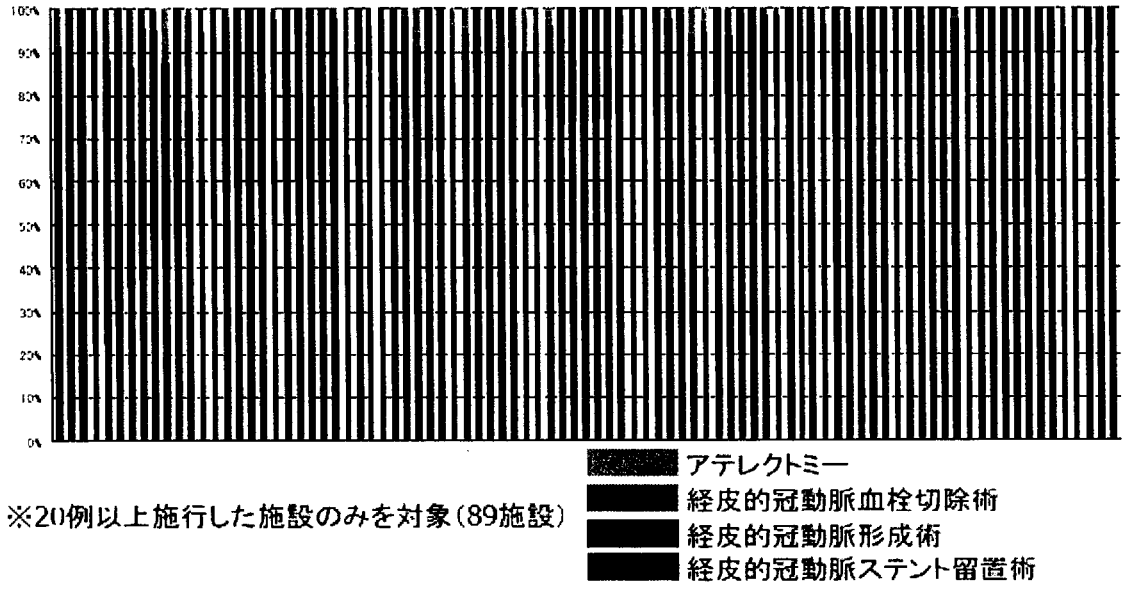
Total gastrectomy (144 hospitals)



ばらつきの内容分析⑧

医療プロセスの分析

狭心症・慢性虚血性心疾患における経皮的冠動脈インターベーションの施行割合（N = 4,316）[0500503×05~08]



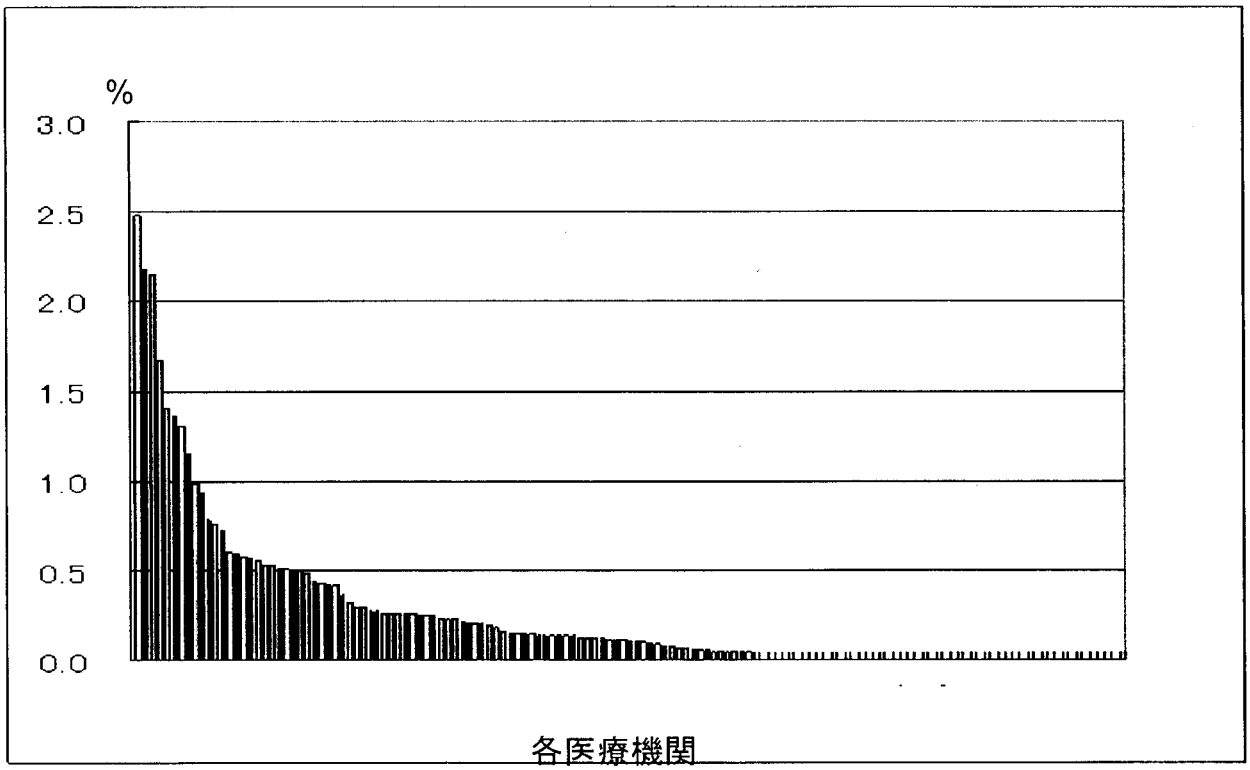
※20例以上施行した施設のみを対象（89施設）

ケースミックスとパフォーマンスについて

プロセス	・プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法 ・診療プロセスの「妥当性」の評価 ・包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など
ケースミックス と パフォーマンス	・複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」 ・効率よい診療を評価する「効率性指標」 ・稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」 ・重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）
ストラクチャー （構造）	・施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査 ・望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理… ・診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…
地域での役割 （貢献度）	・患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術… ・4疾病・5事業への対応状況

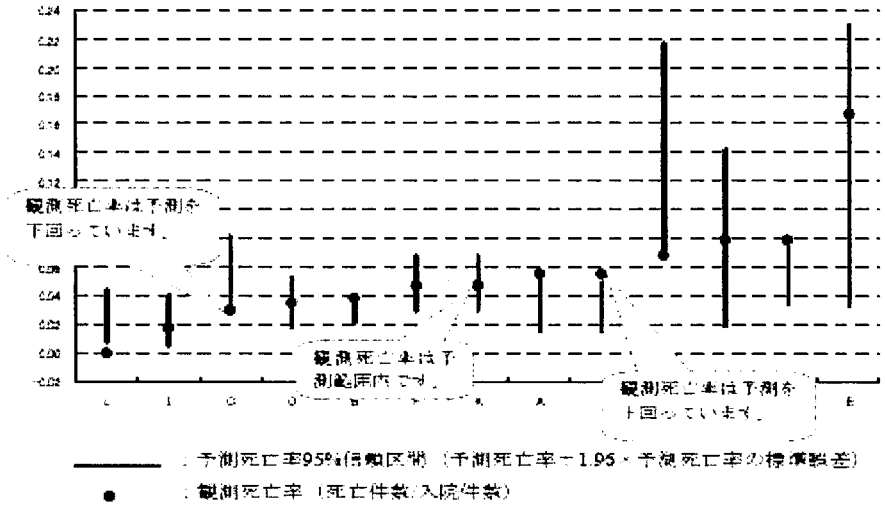
パフォーマンスの分析①

術後感染症の発生頻度
（060210ヘルニアの記載のない腸閉塞）



医療アウトカムの分析

MDC05　循環器系の疾患/急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞の観測死亡率と予測死亡率



*症例数20以下の病院は死亡率が不安定な為解析対象外としています。

ストラクチャー（構造）について

プロセス	・プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法 ・診療プロセスの「妥当性」の評価 ・包括範囲についての検証：化学療法、高額処置・材料など
ケースミックスとパフォーマンス	・複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」 ・効率よい診療を評価する「効率性指標」 ・稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」 ・重症患者への対応状況：副傷病スコア（Charlsonスコア）
ストラクチャー（構造）	**・施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査 ・望ましい5基準の状況：救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理… ・診療情報の質の評価：EFファイルの適切性、ICD10コーディング…**
地域での役割（貢献度）	・患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術… ・4疾病・5事業への対応状況

施設調査の概要（1）

	A	B	C	D	E
3					
4	施設基準名称	今回届け出	備考：該当する施設基準通知		
5	臨床研修病院入院診療加算	□	2		
6	超急性期脳卒中加算	□	3		
7	妊産婦緊急搬送入院加算	□	3の2		
8	診療録管理体制加算	□	4		
9	医師事務作業補助体制加算	□	4の2		
10	緩和ケア診療加算	□	14		
11	精神科応急入院施設管理加算	□	15		
12	がん診療連携拠点病院加算	□	18		
13	ハイリスク妊婦管理加算	□	22の2		
14	ハイリスク分娩管理加算	□	23		
15	救命救急入院料	□	第1		
16	特定集中治療室管理料	□	2		
17	ハイケアユニット入院医療管理料	□	3		
18	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	□	4		
19	新生児特定集中治療室管理料	□	5		
20	総合周産期特定集中治療室管理料	□	6		
21	広範囲熱傷特定集中治療室管理料	□	7		
22	一類感染症患者入院医療管理料	□	8		
23	特殊疾患入院医療管理料	□	9		
24	小児入院医療管理料1	□	10		
25	小児入院医療管理料2	□	10		
26	小児入院医療管理料3	□	10		
27	小児入院医療管理料4	□	10		
28	回復期リハビリテーション病棟入院料1	□	11		
29	回復期リハビリテーション病棟入院料2	□	11		
30	亜急性期入院医療管理料1	□	12		
31	亜急性期入院医療管理料2	□	12		
32	緩和ケア病棟入院料	□	14		
33	精神科救急入院料	□	15		
34	精神科急性期治療病棟入院料1	□	16		
35	精神科急性期治療病棟入院料2	□	16		
36	精神科救急・合併症入院料	□	16の2		
37	精神療養病棟入院料	□	17		
38					

◀◀ ◀ ▶ ▶▶ ／医療施設・設備／医療施設・人員配置＼施設基準・基本／施設基準・特掲／

施設調査の概要（2）

1	社会保険事務所への施設基準届出の状況（平成20年4月現在）：特掲		
2	該当するものについて「今回届け出」を■につけかえてください（プルダウンになっています）		
3			
4	名　称	今回届出	施設基準通知
5	在宅療養支援病院	□	14の2
6	長期継続頭蓋内脳波検査	□	24
7	光トポグラフィー及び中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	□	25
8	神経磁気診断	□	26
9	神経学的検査	□	26の2
10	補聴器適合検査	□	27
11	画像診断管理加算1	□	30
12	画像診断管理加算2	□	30
13	画像診断管理加算（歯科診療に係るものに限る。）	□	31
14	遠隔画像診断	□	32
15	ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	□	33
16	CT撮影及びMRI撮影	□	34
17	冠動脈CT撮影加算	□	35
18	心臓MRI撮影加算	□	36
19	外来化学療法加算1	□	37
20	外来化学療法加算2	□	37
21	心大血管疾患リハビリテーション料(I)	□	38
22	心大血管疾患リハビリテーション料(II)	□	39
23	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	□	40
24	脳血管疾患等リハビリテーション料(II)	□	40の2
25	脳血管疾患等リハビリテーション料(III)	□	41
26	運動器リハビリテーション料(I)	□	42
27	運動器リハビリテーション料(II)	□	43
28	呼吸器リハビリテーション料(I)	□	44
29	呼吸器リハビリテーション料(II)	□	45
30	難病患者リハビリテーション料	□	46
31	障害児（者）リハビリテーション料	□	47
32	集団コミュニケーション療法料	□	47の2
33	精神科作業療法	□	48
34	内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方切除術に限る。）	□	58
35	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（前方摘出術に限る。）、内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）	□	59
36	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	□	59の2

◀◀ ◀ ▶ ▶▶ ／医療施設・設備／医療施設・人員配置／施設基準・基本＼施設基準・特掲／ |<

施設調査の概要(3)

施設全体の人員配置

医師	常勤	0人
	非常勤(常勤換算)	0人
歯科医師	常勤	0人
	非常勤(常勤換算)	0人
薬剤師	(常勤換算)	0人
保健師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
助産師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
看護師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
准看護師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
看護業務補助者	(常勤換算)	0人
理学療法士	(常勤換算)	0人
作業療法士	(常勤換算)	0人
視能訓練士	(常勤換算)	0人
義肢装具士	(常勤換算)	0人
歯科衛生士	(常勤換算)	0人
歯科技工士	(常勤換算)	0人
社会福祉士	(常勤換算)	0人
介護福祉士	(常勤換算)	0人
言語聴覚士	(常勤換算)	0人
精神保健福祉士	(常勤換算)	0人
診療放射線技師	(常勤換算)	0人
診療エックス線技師	(常勤換算)	0人
臨床検査技師	(常勤換算)	0人
衛生検査技師	(常勤換算)	0人

▸ ⏯ ／医療施設・設備＼医療施設・人員配置／施設基準・基本／施設基準・特掲／ |<

施設調査の概要(4)

A	B	C	D	E
診療基本情報				
	外来患者数(2008年9月一ヶ月の実績)		0人	延べ人数
	院外処方箋の発行率(%)		0%	全処方箋発行数における院外処方箋の占める割合(%)
	分娩数(2007年4月～2008年3月実績)		0件	死産も含む
病院指定関連など				
	施設指定の状況 (複数回答可) 該当項目に○を入力してください		1 地域医療支援病院 2 災害拠点病院 3 がん診療連携拠点病院 4 開放型病院 5 特定承認保険医療機関 6 特殊疾患入院施設又は 特殊疾患療養病棟を有する病院 7 老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院 8 緩和ケア病棟を有する病院	
	救急告示 の 有 無		1 有 2 無	
	救急医療 体 制 (複数回答可)		1 初期 2 二次 3 三次(救命救急センター)	
許可病床数				
	精神病床		0床	
	感染症病床		0床	
	結核病床		0床	届出病床数を記載してください
	療養病床		0床	
	一般病床		0床	
	合 計		0床	上記5種を自動的に足し合わせます
	上記のうち経過的旧その他の病床			
	特例許可老人病床(再掲)		0床	
	特例許可老人病床以外の老人病床(再掲)		0床	

▸ ⏯ ＼医療設備・高額装置＼医療施設・設備／医療施設・人員配置／施設基準・基本／施設基準・ |<

施設調査の概要(5)

A B C D E F G H

高額検査など装置(放射線関連)の配備状況 (欄が足りなければ、挿入してください) 補足

高額検査など装置(放射線関連)の配備状況 (欄が足りなければ、挿入してください)

	性能		導入年度(元号)	一日平均患者数
CT(以下、列挙)		列		
CT		列	H 年	
CT		列	H 年	
CT		列	H 年	
CT		列	H 年	
CT		列	H 年	
CT		列	H 年	
IVR/CT			H 年	
治療計画用CT			H 年	
MRI(以下、列挙)		テスラ	H 年	
MRI		テスラ	H 年	
MRI		テスラ	H 年	
MRI		テスラ	H 年	
MRI		テスラ	H 年	
MRI		テスラ	H 年	
SPECT(以下、列挙)		検出器	H 年	
SPECT		検出器	H 年	
SPECT		検出器	H 年	
SPECT		検出器	H 年	
SPECT		検出器	H 年	

以下、患者数は平日の平均、すべて算定ベース

検出器数を記載ください

▸ ▸| \医療設備・高額装置 /医療施設・設備 /医療施設・人員配置 /施設基準・基本 /施設基準・ |<

地域における病院の役割

プロセス
- プロセスの「ばらつき」に関する検討…手術・処置、化学療法
- 診療プロセスの「妥当性」の評価
- 包括範囲についての検証:化学療法、高額処置・材料など

ケースミックスとパフォーマンス
- 複雑な傷病の診療を評価する「複雑性指数」
- 効率よい診療を評価する「効率性指標」
- 稀少な傷病の診療を評価する「稀少性指数」
- 重症患者への対応状況:副傷病スコア(Charlsonスコア)

ストラクチャー(構造)
- 施設の外的基準→構造及び人的資源等についての調査
- 望ましい5基準の状況:救急医療、ICU、画像診断、麻酔、病理…
- 診療情報の質の評価:EFファイルの適切性、ICD10コーディング…

地域での役割(貢献度)
- 患者シェア、専門性、希少性の高い疾患、難易度の高い手術…
- 4疾病・5事業への対応状況

地域における病院の役割の評価①　　平成20年5月9日　DPC評価分科会資料より作成

福岡県(40)：4疾病のTop10病院リスト

→全病院　→4疾病　→がん　→脳卒中　→心筋梗塞　→救急病

がんTop10病院リスト　　注：手術・処置2の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC6数
1	YA0075	九州大学病院	3,384	66,049	564.0	360.9	40
2	YA1364	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	2,691	56,984	448.5	311.4	20
3	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	2,269	32,013	378.2	174.9	30
4	YA0073	久留米大学病院	2,147	51,685	357.8	282.4	34
5	YA0137	飯塚病院	1,780	28,244	296.7	154.3	31
6	YA1361	北九州市立医療センター	1,747	37,908	291.2	207.1	22
7	YA0257	九州厚生年金病院	1,670	25,586	278.3	139.8	23
8	YA0072	福岡大学病院	1,558	32,585	259.7	178.1	29
9	YA0074	産業医科大学病院	1,418	27,940	236.3	152.7	30
10	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	1,403	20,780	233.8	113.6	19

脳卒中Top10病院リスト　　注：手術・処置2の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC6数
1	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	605	6,464	100.8	35.3	2
2	YA1355	社会福祉法人恵愛財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	414	8,569	69.0	46.8	3
3	YA1362	社会保険小倉記念病院	401	5,837	66.8	31.9	2
4	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	294	9,798	49.0	53.5	3
5	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	289	7,116	48.2	38.9	3
6	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	239	3,581	39.8	19.6	3
7	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	239	3,154	39.8	17.2	3
8	YA0137	飯塚病院	210	4,627	35.0	25.3	3
9	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	205	4,955	34.2	27.1	2
10	YA0664	福岡和白病院	200	4,136	33.3	22.6	3

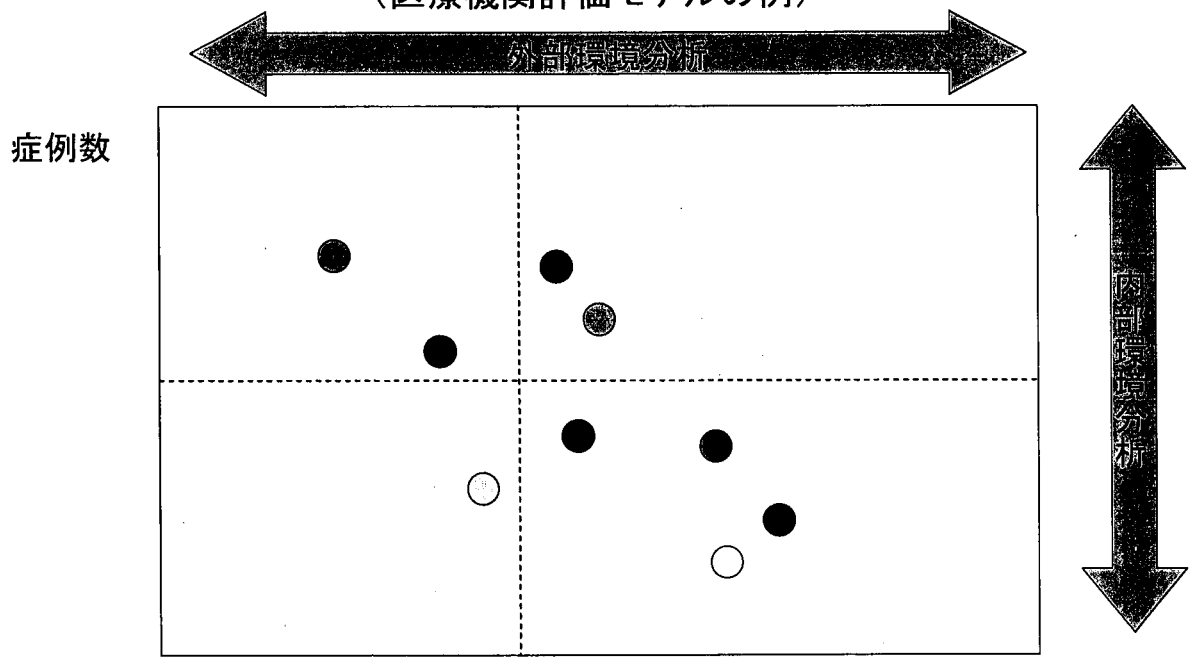
急性心筋梗塞Top10病院リスト　　注：手術・処置2の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC6数
1	YA1362	社会保険小倉記念病院	2,423	13,529	403.8	73.9	2
2	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	681	7,147	113.5	39.1	2
3	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	491	4,933	81.8	27.0	2
4	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	417	2,055	69.5	11.2	2
5	YA0664	福岡和白病院	400	3,936	66.7	21.5	2
6	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	395	3,205	65.8	17.5	2
7	YA0073	久留米大学病院	309	5,514	51.5	30.1	2
8	YA0072	福岡大学病院	309	3,762	51.5	20.6	2
9	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	285	2,432	47.5	13.3	2
10	YA0257	九州厚生年金病院	282	2,520	47.0	13.8	2

地域における病院の役割の評価②

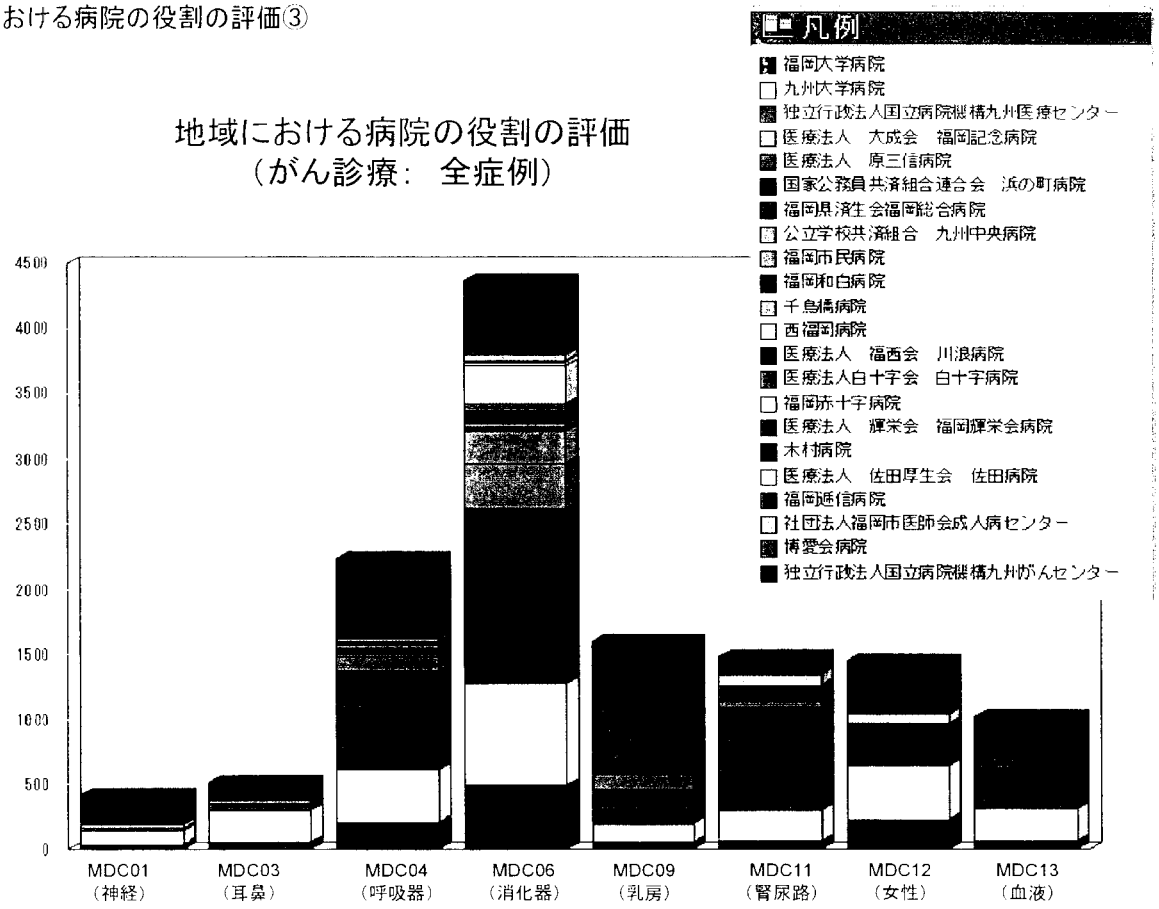
4疾病5事業の評価

（医療機関評価モデルの例）



- ● がん手術
- ● がん化療
- ● がん放治
- ● 脳血管障害
- ● 心筋梗塞
- ● 救急患者
- ◉ 分娩数
- ○ 新生児患者

地域における病院の役割の評価③

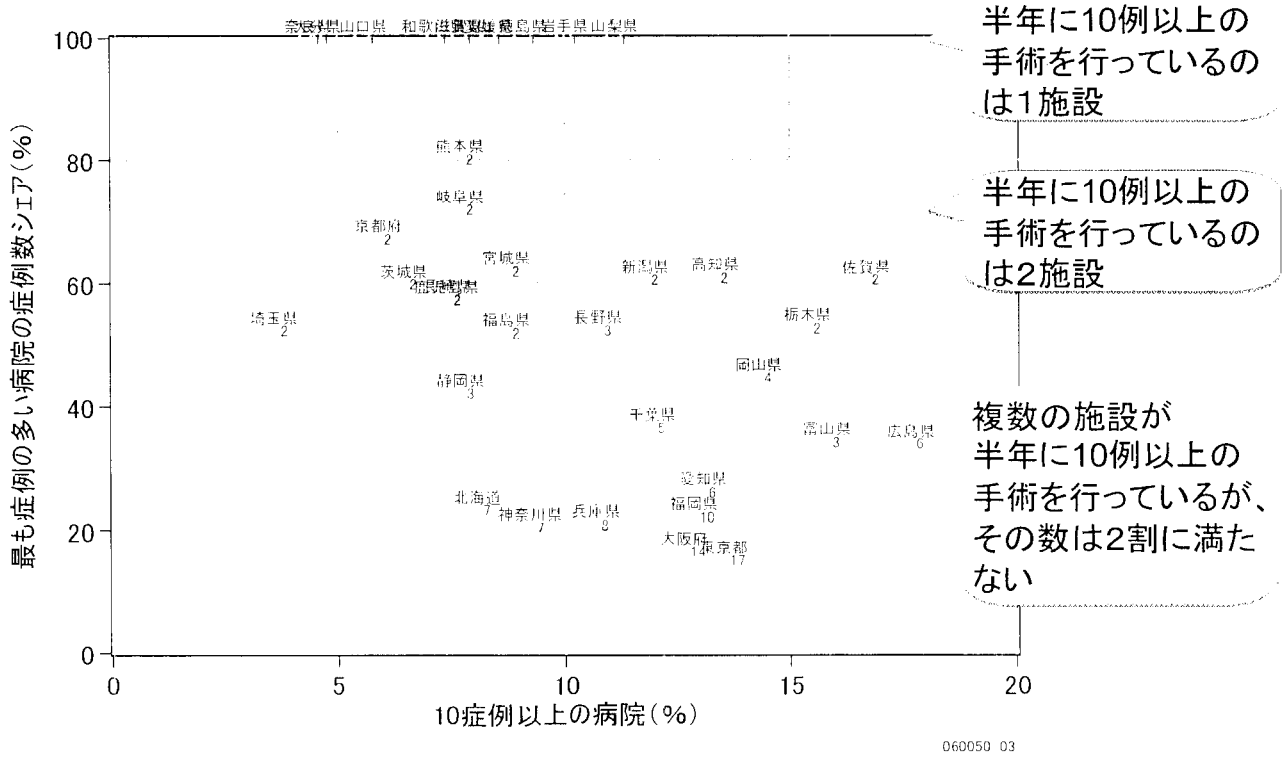


平成20年5月9日 DPC評価分科会資料より作成

地域における病院の役割の評価④

地域における病院の役割

060050(肝臓がん)/手術03(肝切除術 部分切除等)



半年に10例以上の手術を行っているのは1施設

半年に10例以上の手術を行っているのは2施設

複数の施設が半年に10例以上の手術を行っているが、その数は2割に満たない

データ：平成19年度厚生労働省調査報告（2008/05/09 DPC評価分科会資料）より

福岡県(40)：４疾病のTop10病院リスト

一全病院 | →４疾病 | 一がん | 一脳卒中 | 一心筋梗塞 | 一糖尿病

がんTop10病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0075	九州大学病院	3,384	66,049	564.0	360.9	40
2	YA1364	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	2,691	56,984	448.5	311.4	20
3	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	2,269	32,013	378.2	174.9	30
4	YA0073	久留米大学病院	2,147	51,685	357.8	282.4	34
5	YA0137	飯塚病院	1,780	28,244	296.7	154.3	31
6	YA1361	北九州市立医療センター	1,747	37,908	291.2	207.1	22
7	YA0257	九州厚生年金病院	1,670	25,586	278.3	139.8	23
8	YA0072	福岡大学病院	1,558	32,585	259.7	178.1	29
9	YA0074	産業医科大学病院	1,418	27,940	236.3	152.7	30
10	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	1,403	20,780	233.8	113.6	19

脳卒中Top10病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	605	6,464	100.8	35.3	2
2	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	414	8,569	69.0	46.8	3
3	YA1362	社会保険小倉記念病院	401	5,837	66.8	31.9	2
4	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	294	9,798	49.0	53.5	3
5	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	289	7,116	48.2	38.9	3
6	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	239	3,581	39.8	19.6	3
7	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	239	3,154	39.8	17.2	3
8	YA0137	飯塚病院	210	4,627	35.0	25.3	3
9	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	205	4,955	34.2	27.1	2
10	YA0664	福岡和白病院	200	4,136	33.3	22.6	3

急性心筋梗塞Top10病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA1362	社会保険小倉記念病院	2,423	13,529	403.8	73.9	2
2	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	681	7,147	113.5	39.1	2
3	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	491	4,933	81.8	27.0	2
4	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	417	2,055	69.5	11.2	2
5	YA0664	福岡和白病院	400	3,936	66.7	21.5	2
6	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	395	3,205	65.8	17.5	2
7	YA0073	久留米大学病院	309	5,514	51.5	30.1	2
8	YA0072	福岡大学病院	309	3,762	51.5	20.6	2
9	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	285	2,432	47.5	13.3	2
10	YA0257	九州厚生年金病院	282	2,520	47.0	13.8	2

糖尿病Top10病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0671	福岡赤十字病院	223	3,008	37.2	16.4	3
2	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	159	2,385	26.5	13.0	1
3	YA0256	新日鐵八幡記念病院	150	2,250	25.0	12.3	1
4	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	133	1,729	22.2	9.4	1
5	YA0073	久留米大学病院	129	3,422	21.5	18.7	2
6	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	128	1,909	21.3	10.4	2
7	YA1343	社団法人福岡市医師会成人病センター	124	2,469	20.7	13.5	2
8	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	99	1,701	16.5	9.3	1
9	YA1361	北九州市立医療センター	98	1,699	16.3	9.3	2
10	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	96	1,344	16.0	7.3	1

福岡県(40)：４疾病別の病院リスト（がん）

がんTop40病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0075	九州大学病院	3,384	66,049	564.0	360.9	40
2	YA1364	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	2,691	56,984	448.5	311.4	20
3	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	2,269	32,013	378.2	174.9	30
4	YA0073	久留米大学病院	2,147	51,685	357.8	282.4	34
5	YA0137	飯塚病院	1,780	28,244	296.7	154.3	31
6	YA1361	北九州市立医療センター	1,747	37,908	291.2	207.1	22
7	YA0257	九州厚生年金病院	1,670	25,586	278.3	139.8	23
8	YA0072	福岡大学病院	1,558	32,585	259.7	178.1	29
9	YA0074	産業医科大学病院	1,418	27,940	236.3	152.7	30
10	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	1,403	20,780	233.8	113.6	19
11	YA0256	新日鐵八幡記念病院	1,146	11,365	191.0	62.1	13
12	YA0251	医療法人原三信病院	1,099	12,000	183.2	65.6	19
13	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	929	15,160	154.8	82.8	20
14	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	868	13,936	144.7	76.2	15
15	YA1362	社会保険小倉記念病院	866	14,778	144.3	80.8	18
16	YA0671	福岡赤十字病院	861	11,138	143.5	60.9	20
17	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	804	11,805	134.0	64.5	18
18	YA0674	福岡大学筑紫病院	711	8,664	118.5	47.3	14
19	YA0354	公立八女総合病院	632	11,334	105.3	61.9	12
20	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	612	8,493	102.0	46.4	8
21	YA1358	労働者健康福祉機構九州労災病院	606	9,241	101.0	50.5	9
22	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	591	10,696	98.5	58.4	9
23	YA0679	大牟田市立総合病院	551	8,115	91.8	44.3	16
24	YA0136	社会保険久留米第一病院	544	6,571	90.7	35.9	8
25	YA0664	福岡和白病院	533	4,784	88.8	26.1	9
26	YA1344	博愛会病院	425	2,341	70.8	12.8	4
27	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	420	6,112	70.0	33.4	12
28	YA1348	医療法人社団高野会くるめ病院	401	1,839	66.8	10.0	3
29	YA0687	北九州総合病院	392	5,806	65.3	31.7	13
30	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	383	4,720	63.8	25.8	13
31	YA0353	福岡市民病院	345	6,223	57.5	34.0	8
32	YA0683	医療法人共愛会戸畑共立病院	341	4,777	56.8	26.1	9
33	YA0681	社会保険田川病院	307	6,738	51.2	36.8	10
34	YA1360	国家公務員共済組合連合会新小倉病院	288	4,408	48.0	24.1	9
35	YA0676	筑後市立病院	285	4,938	47.5	27.0	9
36	YA0666	宗像医師会病院	285	3,625	47.5	19.8	9
37	YA1352	社会保険大牟田天領病院	282	3,514	47.0	19.2	9
38	YA0673	福岡県済生会二日市病院	275	5,635	45.8	30.8	8
39	YA0675	医療法人天神会古賀病院21	268	2,829	44.7	15.5	7
40	YA1357	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	266	2,890	44.3	15.8	8

福岡県(40)：４疾病別の病院リスト（脳卒中）

脳卒中Top40病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	605	6,464	100.8	35.3	2
2	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	414	8,569	69.0	46.8	3
3	YA1362	社会保険小倉記念病院	401	5,837	66.8	31.9	2
4	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	294	9,798	49.0	53.5	3
5	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	289	7,116	48.2	38.9	3
6	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	239	3,581	39.8	19.6	3
7	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	239	3,154	39.8	17.2	3
8	YA0137	飯塚病院	210	4,627	35.0	25.3	3
9	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	205	4,955	34.2	27.1	2
10	YA0664	福岡和白病院	200	4,136	33.3	22.6	3
11	YA0256	新日鐵八幡記念病院	195	3,596	32.5	19.7	2
12	YA0685	医療法人財団池友会新小文字病院	171	2,990	28.5	16.3	2
13	YA0674	福岡大学筑紫病院	168	2,033	28.0	11.1	2
14	YA0687	北九州総合病院	166	3,280	27.7	17.9	2
15	YA0257	九州厚生年金病院	152	2,079	25.3	11.4	2
16	YA0671	福岡赤十字病院	150	2,692	25.0	14.7	2
17	YA0682	福岡新水巻病院	149	2,226	24.8	12.2	2
18	YA0681	社会保険田川病院	129	2,835	21.5	15.5	2
19	YA0072	福岡大学病院	122	2,113	20.3	11.5	3
20	YA0673	福岡県済生会二日市病院	121	2,899	20.2	15.8	2
21	YA1358	労働者健康福祉機構九州労災病院	121	1,936	20.2	10.6	2
22	YA0156	医療法人大成会福岡記念病院	117	2,725	19.5	14.9	2
23	YA0073	久留米大学病院	109	2,710	18.2	14.8	3
24	YA0679	大牟田市立総合病院	104	2,124	17.3	11.6	2
25	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	103	2,174	17.2	11.9	1
26	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	100	2,004	16.7	11.0	3
27	YA1331	医療法人輝栄会福岡輝栄会病院	95	1,550	15.8	8.5	2
28	YA0353	福岡市民病院	94	1,582	15.7	8.6	2
29	YA0258	医療法人財団池友会新行橋病院	94	1,406	15.7	7.7	1
30	YA0669	医療法人福西会川浪病院	90	1,916	15.0	10.5	2
31	YA0074	産業医科大学病院	88	2,072	14.7	11.3	2
32	YA0683	医療法人共愛会戸畑共立病院	81	1,270	13.5	6.9	1
33	YA0075	九州大学病院	81	1,171	13.5	6.4	2
34	YA0354	公立八女総合病院	74	1,366	12.3	7.5	2
35	YA0686	健和会大手町病院	74	1,046	12.3	5.7	1
36	YA0670	医療法人白十字会白十字病院	74	993	12.3	5.4	2
37	YA1352	社会保険大牟田天領病院	70	976	11.7	5.3	1
38	YA1337	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院	65	1,338	10.8	7.3	1
39	YA0665	千鳥橋病院	62	1,222	10.3	6.7	1
40	YA1357	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	60	1,155	10.0	6.3	1

福岡県(40)：４疾病別の病院リスト（急性心筋梗塞）

→全病院 | →４疾病 | →がん | →脳卒中 | →心筋梗塞 | →糖尿病

急性心筋梗塞Top40病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA1362	社会保険小倉記念病院	2,423	13,529	403.8	73.9	2
2	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	681	7,147	113.5	39.1	2
3	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	491	4,933	81.8	27.0	2
4	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	417	2,055	69.5	11.2	2
5	YA0664	福岡和白病院	400	3,936	66.7	21.5	2
6	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	395	3,205	65.8	17.5	2
7	YA0073	久留米大学病院	309	5,514	51.5	30.1	2
8	YA0072	福岡大学病院	309	3,762	51.5	20.6	2
9	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	285	2,432	47.5	13.3	2
10	YA0257	九州厚生年金病院	282	2,520	47.0	13.8	2
11	YA0075	九州大学病院	280	3,159	46.7	17.3	2
12	YA0671	福岡赤十字病院	280	2,802	46.7	15.3	2
13	YA0137	飯塚病院	275	3,193	45.8	17.4	2
14	YA0256	新日鐵八幡記念病院	272	1,179	45.3	6.4	2
15	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	263	2,055	43.8	11.2	2
16	YA0665	千鳥橋病院	216	1,832	36.0	10.0	2
17	YA1343	社団法人福岡市医師会成人病センター	214	1,622	35.7	8.9	1
18	YA0258	医療法人財団池友会新行橋病院	195	1,941	32.5	10.6	2
19	YA0674	福岡大学筑紫病院	174	1,429	29.0	7.8	1
20	YA1352	社会保険大牟田天領病院	150	1,690	25.0	9.2	2
21	YA0251	医療法人原三信病院	137	830	22.8	4.5	1
22	YA0074	産業医科大学病院	132	1,790	22.0	9.8	1
23	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	125	467	20.8	2.6	1
24	YA0673	福岡県済生会二日市病院	114	897	19.0	4.9	2
25	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	111	693	18.5	3.8	1
26	YA0682	福岡新水巻病院	106	667	17.7	3.6	2
27	YA1358	労働者健康福祉機構九州労災病院	98	724	16.3	4.0	1
28	YA0353	福岡市民病院	95	345	15.8	1.9	1
29	YA1357	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	84	654	14.0	3.6	1
30	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	79	477	13.2	2.6	2
31	YA0685	医療法人財団池友会新小文字病院	79	406	13.2	2.2	1
32	YA0670	医療法人白十字会白十字病院	79	357	13.2	2.0	1
33	YA1337	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院	76	589	12.7	3.2	1
34	YA1353	社会保険筑豊病院	74	420	12.3	2.3	1
35	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	67	425	11.2	2.3	1
36	YA0156	医療法人大成会福岡記念病院	66	785	11.0	4.3	1
37	YA0679	大牟田市立総合病院	63	756	10.5	4.1	1
38	YA0680	医療法人親仁会米の山病院	47	242	7.8	1.3	1
39	YA0354	公立八女総合病院	42	378	7.0	2.1	1
40	YA1361	北九州市立医療センター	37	420	6.2	2.3	1

福岡県(40)：４疾病別の病院リスト（糖尿病）

糖尿病Top40病院リスト

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	DPC６数
1	YA0671	福岡赤十字病院	223	3,008	37.2	16.4	3
2	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	159	2,385	26.5	13.0	1
3	YA0256	新日鐵八幡記念病院	150	2,250	25.0	12.3	1
4	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	133	1,729	22.2	9.4	1
5	YA0073	久留米大学病院	129	3,422	21.5	18.7	2
6	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	128	1,909	21.3	10.4	2
7	YA1343	社団法人福岡市医師会成人病センター	124	2,469	20.7	13.5	2
8	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	99	1,701	16.5	9.3	1
9	YA1361	北九州市立医療センター	98	1,699	16.3	9.3	2
10	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	96	1,344	16.0	7.3	1
11	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	90	1,350	15.0	7.4	1
12	YA0137	飯塚病院	86	958	14.3	5.2	2
13	YA0075	九州大学病院	77	1,463	12.8	8.0	1
14	YA0072	福岡大学病院	76	1,420	12.7	7.8	2
15	YA1360	国家公務員共済組合連合会新小倉病院	69	1,311	11.5	7.2	1
16	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	65	1,170	10.8	6.4	1
17	YA0676	筑後市立病院	64	1,132	10.7	6.2	2
18	YA1358	労働者健康福祉機構九州労災病院	60	1,020	10.0	5.6	1
19	YA0679	大牟田市立総合病院	59	1,534	9.8	8.4	1
20	YA0666	宗像医師会病院	57	1,197	9.5	6.5	1
21	YA1352	社会保険大牟田天領病院	52	1,456	8.7	8.0	1
22	YA0665	千鳥橋病院	45	765	7.5	4.2	1
23	YA0251	医療法人原三信病院	44	660	7.3	3.6	1
24	YA1354	健康保険直方中央病院	43	1,204	7.2	6.6	1
25	YA0677	医療法人社団シマダ嶋田病院	43	559	7.2	3.1	1
26	YA0686	健和会大手町病院	39	585	6.5	3.2	1
27	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	36	720	6.0	3.9	1
28	YA1351	長田病院	35	770	5.8	4.2	1
29	YA0683	医療法人共愛会戸畑共立病院	35	735	5.8	4.0	1
30	YA0674	福岡大学筑紫病院	35	560	5.8	3.1	1
31	YA1356	日本海員掖済会門司病院	34	884	5.7	4.8	1
32	YA1357	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	34	782	5.7	4.3	1
33	YA0664	福岡和白病院	34	714	5.7	3.9	1
34	YA0257	九州厚生年金病院	34	510	5.7	2.8	1
35	YA0353	福岡市民病院	33	594	5.5	3.2	1
36	YA0074	産業医科大学病院	29	522	4.8	2.9	1
37	YA0670	医療法人白十字会白十字病院	26	416	4.3	2.3	1
38	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	23	529	3.8	2.9	1
39	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	22	462	3.7	2.5	1
40	YA0687	北九州総合病院	21	441	3.5	2.4	1

福岡県(40)：調査参加病院リスト

→全病院｜→4疾病｜→がん｜→脳卒中｜→心筋梗塞｜→糖尿病

調査参加病院リスト

注：手術・処置2の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	病院コード	病院名	症例数	延日数	症例／月	病床数	ALOS	DPC6数
1	YA0075	九州大学病院	6,794	121,651	1,132.3	664.8	17.9	115
2	YA1362	社会保険小倉記念病院	6,239	68,819	1,039.8	376.1	11.0	70
3	YA0138	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	5,708	79,036	951.3	431.9	13.8	85
4	YA0137	飯塚病院	5,305	77,277	884.2	422.3	14.6	104
5	YA0073	久留米大学病院	5,164	104,535	860.7	571.2	20.2	97
6	YA0135	医療法人雪ノ聖母会聖マリア病院	4,941	72,708	823.5	397.3	14.7	100
7	YA0072	福岡大学病院	4,577	76,637	762.8	418.8	16.7	115
8	YA0257	九州厚生年金病院	4,222	57,581	703.7	314.7	13.6	81
9	YA0672	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院	3,677	59,153	612.8	323.2	16.1	75
10	YA0671	福岡赤十字病院	3,508	46,120	584.7	252.0	13.1	78
11	YA0074	産業医科大学病院	3,369	59,890	561.5	327.3	17.8	85
12	YA0256	新日鐵八幡記念病院	3,084	36,635	514.0	200.2	11.9	53
13	YA0252	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	2,911	38,696	485.2	211.5	13.3	69
14	YA1361	北九州市立医療センター	2,747	53,530	457.8	292.5	19.5	55
15	YA1364	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	2,691	56,984	448.5	311.4	21.2	20
16	YA0253	福岡県済生会福岡総合病院	2,669	33,830	444.8	184.9	12.7	65
17	YA0664	福岡和白病院	2,632	32,738	438.7	178.9	12.4	60
18	YA0254	公立学校共済組合九州中央病院	2,530	35,123	421.7	191.9	13.9	62
19	YA0674	福岡大学筑紫病院	2,300	27,738	383.3	151.6	12.1	57
20	YA0687	北九州総合病院	2,258	28,590	376.3	156.2	12.7	57
21	YA0251	医療法人原三信病院	2,190	25,310	365.0	138.3	11.6	54
22	YA1358	労働者健康福祉機構九州労災病院	2,140	29,000	356.7	158.5	13.6	56
23	YA1355	社会福祉法人恩賜財団済生会支部福岡県済生会八幡総合病院	2,124	33,678	354.0	184.0	15.9	48
24	YA1363	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	2,001	29,909	333.5	163.4	14.9	41
25	YA0255	医療法人天神会新古賀病院	1,992	25,404	332.0	138.8	12.8	33
26	YA0679	大牟田市立総合病院	1,826	23,273	304.3	127.2	12.7	52
27	YA0354	公立八女総合病院	1,735	26,389	289.2	144.2	15.2	49
28	YA0668	福岡市立こども病院・感染症センター	1,625	13,261	270.8	72.5	8.2	36
29	YA0665	千鳥橋病院	1,600	18,853	266.7	103.0	11.8	48
30	YA0685	医療法人財団池友会新小文字病院	1,599	21,302	266.5	116.4	13.3	35
31	YA0682	福岡新水巻病院	1,401	17,768	233.5	97.1	12.7	43
32	YA0355	医療法人社団高邦会高木病院	1,391	21,070	231.8	115.1	15.1	44
33	YA0673	福岡県済生会二日市病院	1,359	23,759	226.5	129.8	17.5	45
34	YA0681	社会保険田川病院	1,358	22,393	226.3	122.4	16.5	41
35	YA0686	健和会大手町病院	1,302	14,790	217.0	80.8	11.4	43
36	YA0353	福岡市民病院	1,146	18,461	191.0	100.9	16.1	31
37	YA0258	医療法人財団池友会新行橋病院	1,079	12,953	179.8	70.8	12.0	36
38	YA0676	筑後市立病院	1,041	16,392	173.5	89.6	15.7	35
39	YA1352	社会保険大牟田天領病院	1,011	15,818	168.5	86.4	15.6	30
40	YA0683	医療法人共愛会戸畑共立病院	1,005	15,340	167.5	83.8	15.3	26
41	YA0670	医療法人白十字会白十字病院	927	8,799	154.5	48.1	9.5	30
42	YA0669	医療法人福西会川浪病院	915	15,452	152.5	84.4	16.9	38
43	YA1343	社団法人福岡市医師会成人病センター	872	10,543	145.3	57.6	12.1	22
44	YA1357	独立行政法人労働者健康福祉機構門司労災病院	861	13,703	143.5	74.9	15.9	31
45	YA0666	宗像医師会病院	847	13,390	141.2	73.2	15.8	25
46	YA1348	医療法人社団高野会くるめ病院	826	8,082	137.7	44.2	9.8	16
47	YA0156	医療法人大成会福岡記念病院	795	10,918	132.5	59.7	13.7	28
48	YA1360	国家公務員共済組合連合会新小倉病院	790	11,309	131.7	61.8	14.3	26
49	YA0136	社会保険久留米第一病院	745	9,426	124.2	51.5	12.7	18
50	YA0675	医療法人天神会古賀病院21	729	11,594	121.5	63.4	15.9	23
51	YA1339	医療法人佐田厚生会佐田病院	686	8,392	114.3	45.9	12.2	21
52	YA1337	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院	661	8,642	110.2	47.2	13.1	21
53	YA1356	日本海員掖済会門司病院	591	9,081	98.5	49.6	15.4	22
54	YA1331	医療法人輝栄会福岡輝栄会病院	589	9,598	98.2	52.4	16.3	18
55	YA1344	博愛会病院	553	4,905	92.2	26.8	8.9	11
56	YA1354	健康保険直方中央病院	531	7,786	88.5	42.5	14.7	18
57	YA1346	福岡整形外科病院	499	8,884	83.2	48.5	17.8	14
58	YA1335	福岡青洲会病院	437	5,852	72.8	32.0	13.4	21
59	YA0684	医療法人社団陽明会小波瀬病院	379	3,795	63.2	20.7	10.0	16
60	YA0677	医療法人社団シマダ嶋田病院	366	3,648	61.0	19.9	10.0	16
61	YA1359	財団法人小倉地区医療協会三萩野病院	312	4,363	52.0	23.8	14.0	12
62	YA1342	福岡逓信病院	311	3,378	51.8	18.5	10.9	12
63	YA1351	長田病院	307	4,351	51.2	23.8	14.2	11
64	YA1353	社会保険筑豊病院	283	5,224	47.2	28.5	18.5	11
65	YA1332	木村病院	238	2,502	39.7	13.7	10.5	13
66	YA0678	医療法人聖峰会田主丸中央病院	233	3,273	38.8	17.9	14.0	12
67	YA1333	医療法人社団日晴会久恒病院	225	4,486	37.5	24.5	19.9	8

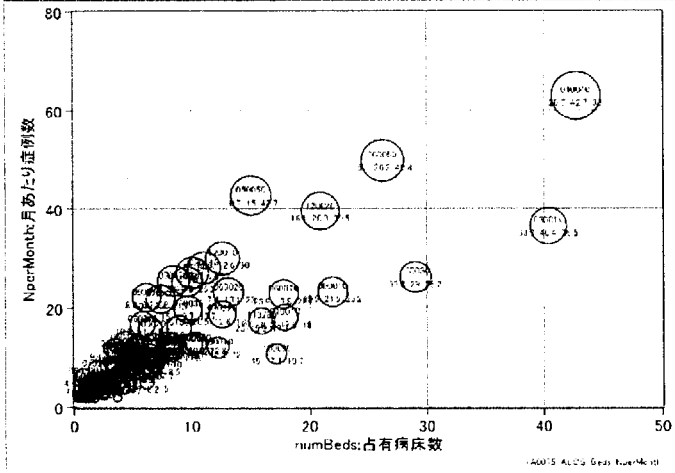
68	YA0680	医療法人親仁会米の山病院	224	2,568	37.3	14.0	11.5	11
69	YA1341	医療法人大乗会福岡リハビリテーション病院	218	2,449	36.3	13.4	11.2	9
70	YA1347	医療法人社団慶仁会川崎病院	190	1,965	31.7	10.7	10.3	11
71	YA1345	医療法人喜悦会那珂川病院	179	2,181	29.8	11.9	12.2	9
72	YA0667	西福岡病院	145	2,175	24.2	11.9	15.0	5
73	YA1334	特別医療法人栄光会栄光病院	143	2,300	23.8	12.6	16.1	9
74	YA1340	医療法人社団江頭会さくら病院	124	1,939	20.7	10.6	15.6	4
75	YA1338	医療法人豊資会加野病院	113	1,351	18.8	7.4	12.0	3
76	YA1350	姫野病院	64	1,154	10.7	6.3	18.0	2
77	YA1349	神代病院	63	1,011	10.5	5.5	16.0	3
78	YA1336	上野外科胃腸科病院	62	716	10.3	3.9	11.5	2

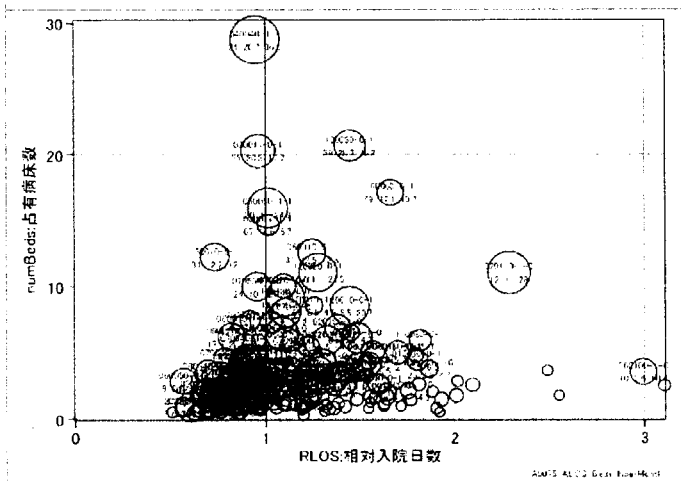
九州大学病院/YA0075

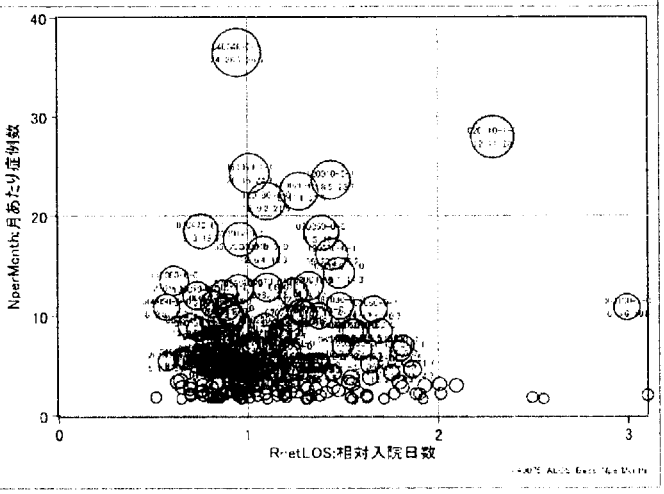
DPC 6 桁Top30

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	DPC6	分類名	症例数	延日数	症例／月	病床数	ALOS
1	040040	肺の悪性腫瘍	378	7,816	63.0	42.7	20.7
2	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	299	4,802	49.8	26.2	16.1
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	256	2,748	42.7	15.0	10.7
4	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	237	3,824	39.5	20.9	16.1
5	03001x	頭頸部悪性腫瘍	219	7,388	36.5	40.4	33.7
6	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	180	2,305	30.0	12.6	12.8
7	020110	白内障、水晶体の疾患	168	2,016	28.0	11.0	12.0
8	120180	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア、予想される分娩の諸問題	162	1,842	27.0	10.1	11.4
9	130030	非ホジキンリンパ腫	157	5,309	26.2	29.0	33.8
10	070470	関節リウマチ	152	1,546	25.3	8.4	10.2
11	110080	前立腺の悪性腫瘍	151	1,758	25.2	9.6	11.6
12	060010	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）	139	4,015	23.2	21.9	28.9
13	060020	胃の悪性腫瘍	138	2,396	23.0	13.1	17.4
14	060070	膵臓、脾臓の腫瘍	136	3,249	22.7	17.8	23.9
15	090010	乳房の悪性腫瘍	132	1,129	22.0	6.2	8.6
16	020200	黄斑、後極変性	130	1,352	21.7	7.4	10.4
17	060035	大腸（上行結腸からＳ状結腸）の悪性腫瘍	118	1,776	19.7	9.7	15.1
18	070220	股関節症（変形性を含む。）	112	2,300	18.7	12.6	20.5
19	010010	脳腫瘍	108	3,264	18.0	17.8	30.2
20	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	104	2,907	17.3	15.9	28.0
21	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	100	1,062	16.7	5.8	10.6
22	161060	詳細不明の損傷等	96	1,632	16.0	8.9	17.0
23	100020	甲状腺の悪性腫瘍	94	1,194	15.7	6.5	12.7
24	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	78	793	13.0	4.3	10.2
25	070040	骨軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）	77	1,898	12.8	10.4	24.6
26	100070	２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	77	1,463	12.8	8.0	19.0
27	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	76	1,824	12.7	10.0	24.0
28	070340	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	76	1,252	12.7	6.8	16.5
29	050070	頻脈性不整脈	73	985	12.2	5.4	13.5
30	130010	急性白血病	72	2,232	12.0	12.2	31.0





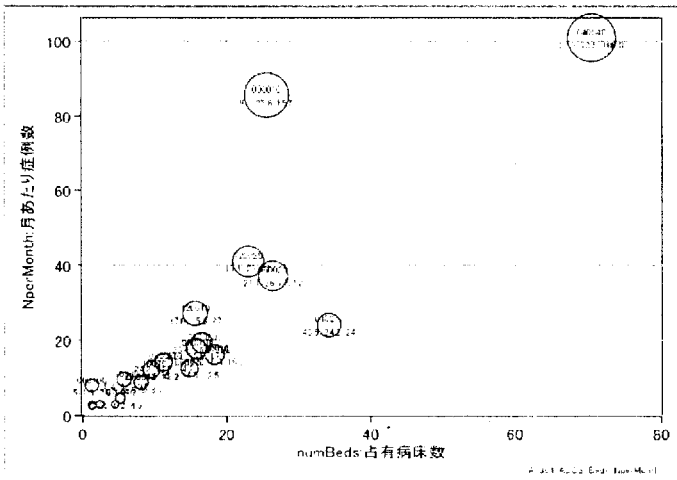


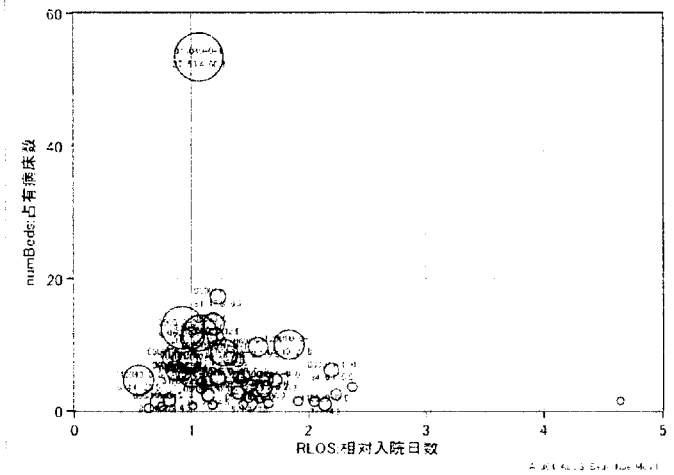
独立行政法人国立病院機構九州がんセンター/YA1364

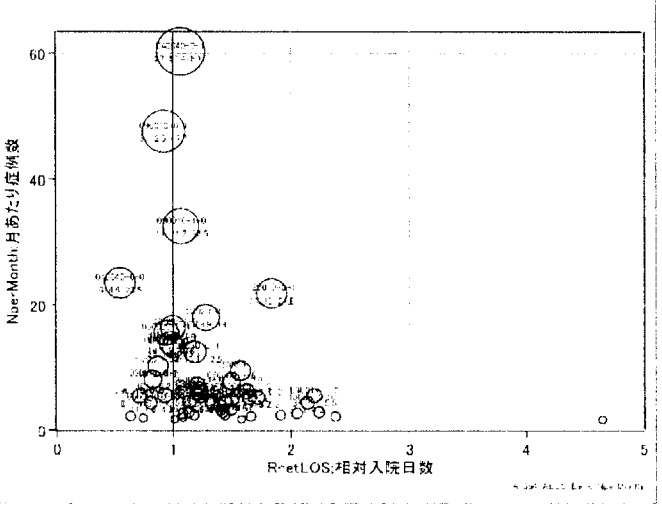
DPC６桁Top30

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	DPC6	分類名	症例数	延日数	症例／月	病床数	ALOS
1	040040	肺の悪性腫瘍	605	12,898	100.8	70.5	21.3
2	090010	乳房の悪性腫瘍	513	4,689	85.5	25.6	9.1
3	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	246	4,210	41.0	23.0	17.1
4	060020	胃の悪性腫瘍	223	4,843	37.2	26.5	21.7
5	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	162	2,855	27.0	15.6	17.6
6	03001x	頭頸部悪性腫瘍	144	6,257	24.0	34.2	43.5
7	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	115	3,036	19.2	16.6	26.4
8	060010	食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）	106	2,890	17.7	15.8	27.3
9	130030	非ホジキンリンパ腫	97	3,346	16.2	18.3	34.5
10	060035	大腸（上行結腸からＳ状結腸）の悪性腫瘍	85	2,054	14.2	11.2	24.2
11	060070	膵臓、脾臓の腫瘍	75	2,707	12.5	14.8	36.1
12	110070	膀胱腫瘍	73	1,747	12.2	9.5	23.9
13	110080	前立腺の悪性腫瘍	57	1,050	9.5	5.7	18.4
14	060040	直腸肛門（直Ｓ状結腸から肛門）の悪性腫瘍	52	1,472	8.7	8.0	28.3
15	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	47	235	7.8	1.3	5.0
16	070040	骨軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）	27	945	4.5	5.2	35.0
17	130010	急性白血病	17	816	2.8	4.5	48.0
18	100020	甲状腺の悪性腫瘍	17	442	2.8	2.4	26.0
19	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)	16	240	2.7	1.3	15.0
20	120070	卵巣の良性腫瘍	14	252	2.3	1.4	18.0





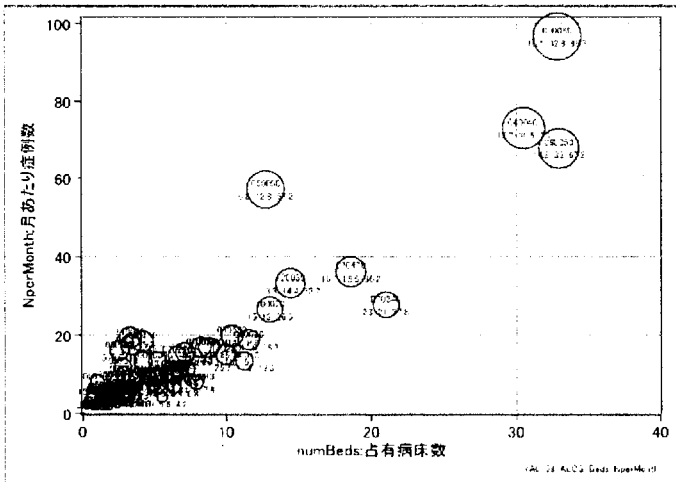


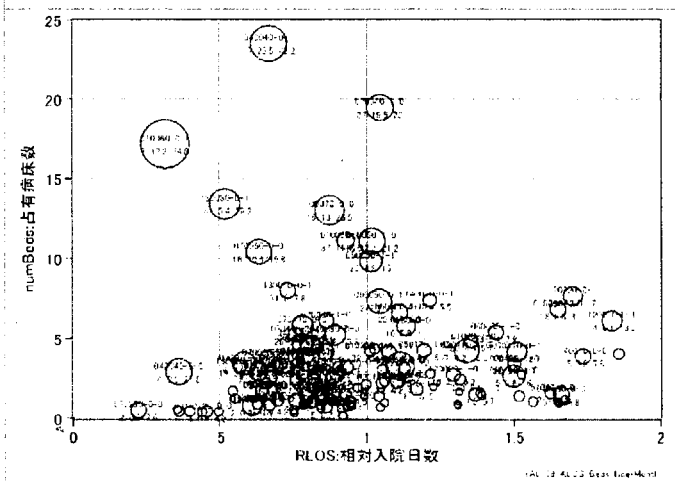
独立行政法人国立病院機構九州医療センター/YA0138

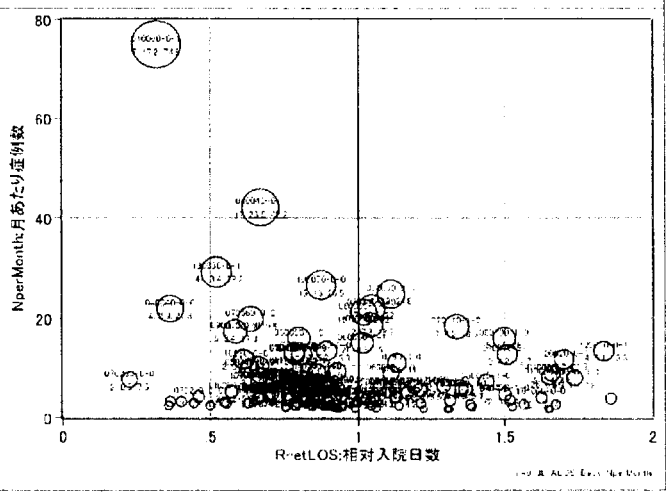
DPC 6 桁Top30

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	DPC6	分類名	症例数	延日数	症例／月	病床数	ALOS
1	010060	脳梗塞	580	6,014	96.7	32.9	10.4
2	040040	肺の悪性腫瘍	438	5,581	73.0	30.5	12.7
3	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	407	6,034	67.8	33.0	14.8
4	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	343	2,334	57.2	12.8	6.8
5	070470	関節リウマチ	217	3,402	36.2	18.6	15.7
6	130030	非ホジキンリンパ腫	199	2,640	33.2	14.4	13.3
7	070340	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	167	3,844	27.8	21.0	23.0
8	100070	２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	159	2,385	26.5	13.0	15.0
9	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	119	1,904	19.8	10.4	16.0
10	110080	前立腺の悪性腫瘍	116	612	19.3	3.3	5.3
11	060020	胃の悪性腫瘍	112	2,116	18.7	11.6	18.9
12	020110	白内障、水晶体の疾患	110	770	18.3	4.2	7.0
13	090010	乳房の悪性腫瘍	104	624	17.3	3.4	6.0
14	010030	未破裂脳動脈瘤	101	1,513	16.8	8.3	15.0
15	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	100	1,610	16.7	8.8	16.1
16	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	96	480	16.0	2.6	5.0
17	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	93	1,315	15.5	7.2	14.1
18	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	90	1,824	15.0	10.0	20.3
19	070230	膝関節症（変形性を含む。）	88	1,208	14.7	6.6	13.7
20	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	80	2,058	13.3	11.2	25.7
21	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	80	960	13.3	5.2	12.0
22	110070	膀胱腫瘍	80	774	13.3	4.2	9.7
23	050070	頻脈性不整脈	71	518	11.8	2.8	7.3
24	161060	詳細不明の損傷等	68	1,332	11.3	7.3	19.6
25	050130	心不全	67	1,192	11.2	6.5	17.8
26	060035	大腸（上行結腸からＳ状結腸）の悪性腫瘍	64	1,241	10.7	6.8	19.4
27	060300	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）	59	1,153	9.8	6.3	19.5
28	050140	高血圧性疾患	59	531	9.8	2.9	9.0
29	050080	弁膜症	57	1,173	9.5	6.4	20.6
30	050170	閉塞性動脈疾患	56	853	9.3	4.7	15.2



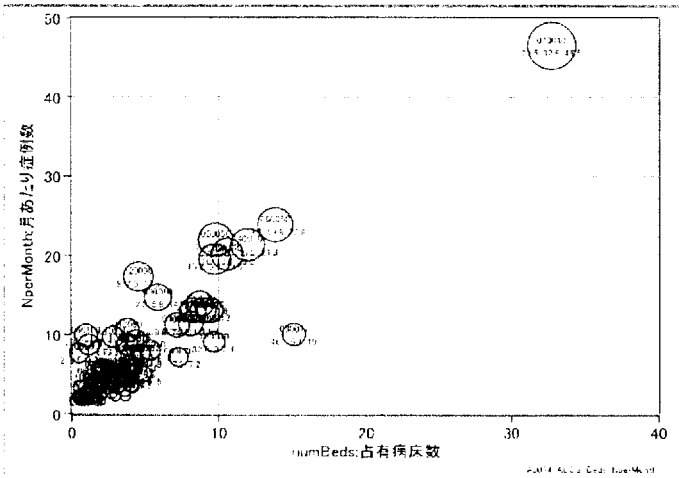


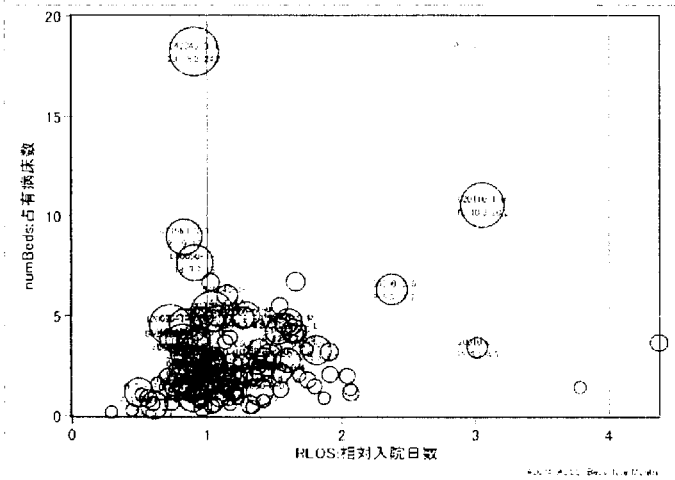


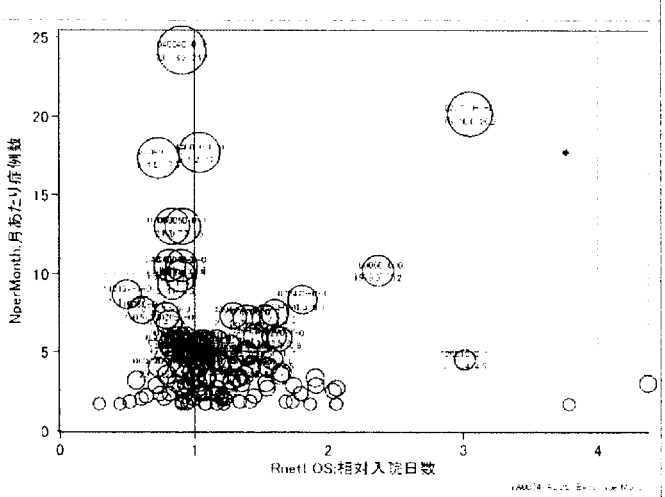
DPC 6 桁Top30

注：手術・処置２の組み合わせ分類で10症例以上のものを合算

順位	DPC6	分類名	症例数	延日数	症例／月	病床数	ALOS
1	040040	肺の悪性腫瘍	279	5,996	46.5	32.8	21.5
2	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	143	2,528	23.8	13.8	17.7
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	132	1,790	22.0	9.8	13.6
4	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	128	2,186	21.3	11.9	17.1
5	020110	白内障、水晶体の疾患	121	1,936	20.2	10.6	16.0
6	070470	関節リウマチ	117	1,781	19.5	9.7	15.2
7	120090	生殖器脱出症	104	832	17.3	4.5	8.0
8	090010	乳房の悪性腫瘍	88	1,078	14.7	5.9	12.3
9	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	83	1,598	13.8	8.7	19.3
10	060020	胃の悪性腫瘍	78	1,719	13.0	9.4	22.0
11	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	78	1,638	13.0	9.0	21.0
12	160060	精神、行動の障害	78	1,516	13.0	8.3	19.4
13	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	68	1,488	11.3	8.1	21.9
14	010060	脳梗塞	67	1,316	11.2	7.2	19.6
15	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	63	693	10.5	3.8	11.0
16	03001x	頭頸部悪性腫瘍	60	2,760	10.0	15.1	46.0
17	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	59	177	9.8	1.0	3.0
18	010230	てんかん	58	516	9.7	2.8	8.9
19	070340	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。）	55	800	9.2	4.4	14.5
20	130030	非ホジキンリンパ腫	54	1,772	9.0	9.7	32.8
21	110070	膀胱腫瘍	52	691	8.7	3.8	13.3
22	11013x	下部尿路疾患	52	208	8.7	1.1	4.0
23	010010	脳腫瘍	48	983	8.0	5.4	20.5
24	110080	前立腺の悪性腫瘍	46	92	7.7	0.5	2.0
25	160620	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	45	855	7.5	4.7	19.0
26	070042	上肢等の皮膚の悪性腫瘍	44	736	7.3	4.0	16.7
27	060070	膵臓、脾臓の腫瘍	43	1,335	7.2	7.3	31.0
28	020160	網膜剥離	37	722	6.2	3.9	19.5
29	020220	緑内障	35	770	5.8	4.2	22.0
30	120180	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア、予想される分娩の諸問題	35	385	5.8	2.1	11.0







施設の外的基準に係る調査

施設名	
病院コード（10桁）	

本シートを含めて以下の5シートに回答御願いします。

医療施設・設備	医療施設調査に準じて回答ねがいます
医療設備・高額装置	医療施設調査に準じて回答ねがいます
医療設備・人員配置	医療施設調査に準じて回答ねがいます

施設基準・基本	2008年4月1日づけ社会保険事務局への届出状況を回答願います
施設基準・特掲	2008年4月1日づけ社会保険事務局への届出状況を回答願います

診療基本情報

外来患者数(2008年9月一ヶ月の実績)	0人	延べ人数
院外処方箋の発行率(%)	0%	全処方箋発行数における院外処方箋の占める割合(%)
分娩数(2007年4月～2008年3月実績)	0件	死産も含む

病院指定関連など

施設指定の状況 (複数回答可) 該当項目のプルダウンを「はい」にしてください	いいえ	1 地域医療支援病院
	いいえ	2 災害拠点病院
	いいえ	3 がん診療連携拠点病院
	いいえ	4 開放型病院
	いいえ	5 特定承認保険医療機関
	いいえ	6 特殊疾患入院施設又は特殊疾患療養病棟を有する病院
	いいえ	7 老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院
	いいえ	8 緩和ケア病棟を有する病院
救急告示の有無 (あれば「あり」に変更してください)	なし	
救急医療体制 (複数回答可) 該当項目はプルダウンで「はい」にしてください	いいえ	1 初期
	いいえ	2 二次
	いいえ	3 三次(救命救急センター)

許可病床数

精神病床	0床	届出病床数を記載してください
感染症病床	0床	
結核病床	0床	
療養病床	0床	
一般病床	0床	
合　計	0床	上記5種を自動的に足し合わせます
上記のうち経過的旧その他の病床		
特例許可老人病床(再掲)	0床	
特例許可老人病床以外の老人病床(再掲)	0床	
療養型病床群(再掲)	0床	

特殊病床・治療施設の状況

特定集中治療室	0床	届出病床数を記載してください
新生児特定集中治療室＊	0床	
ハイケア・ユニット(HCU)	0床	
母体・胎児集中治療室	0床	
広範囲熱傷特定集中治療室	0床	
無菌治療室(手術室は除く)	0床	
放射線治療病室	0床	
理学療法室	3. 無し	プルダウンから選択してください
作業療法室	3. 無し	
精神科作業療法室	3. 無し	
精神科デイ・ケア室又は	3. 無し	
精神科ナイト・ケア室	3. 無し	
重度痴呆患者デイ・ケア室	3. 無し	
全身麻酔可能な手術室(外来手術室を除く)	0室	
外来化学療法加算のある外来化学療法室	0室	

高額治療装置の配備状況

全身麻酔管理機器	0台
体外衝撃波結石破砕装置	0台
人工透析装置	0台
IABP駆動装置	0台
人工心肺装置	0台
補助人工心臓・左室補助循環装置	0台
胸腔・腹腔鏡手術用モニター	0台

レセ電の提出状況

外来	3. その他	プルダウンから選んでください
DPC入院	3. その他	
一般入院	3. その他	

その他設備の状況

救急搬送用ヘリポート(着陸搬送可能) 設置ありの場合はプルダウンをありにして、実績件数を入力してください	設置なし (「あり」の場合　平成19年度使用実績件数(訓練を除く) 0件

□	1. 専用	1. 実施(オンライン・!はい	あり	設置あり
■	2. 共用	2. 1年以内実施予定いいえ	なし	設置なし
	3. 無し	3. その他		

高額検査など装置（放射線関連）の配備状況　（欄が足りなければ、最下段にまとめて挿入してください）

	性能	導入年度	一日平均患者数
CT（以下、列挙）	列	H　年	
CT	列	H　年	
CT	列	H　年	
CT	列	H　年	
CT	列	H　年	
CT	列	H　年	
CT	列	H　年	

以下、患者数は平日の平均、すべて算定ベースで

IVR/CT		H　年	

治療計画用CT		H　年	

MRI（以下、列挙）	テスラ	H　年	
MRI	テスラ	H　年	
MRI	テスラ	H　年	
MRI	テスラ	H　年	
MRI	テスラ	H　年	
MRI	テスラ	H　年	

SPECT（以下、列挙）	検出器	H　年	
SPECT	検出器	H　年	
SPECT	検出器	H　年	
SPECT	検出器	H　年	
SPECT	検出器	H　年	

検出器数を記載ください

PET、PET/CT（以下列挙）	列(CT)	H　年	
PET、PET/CT	列(CT)	H　年	
PET、PET/CT	列(CT)	H　年	

PET単独の場合は、CT列数ゼロ

血管造影装置（以下、列挙）	面	H　年	
血管造影装置	面	H　年	
血管造影装置	面	H　年	

IVR/CTで記載しているものは、ここには記載しない
面数を記載ください

放射線治療装置（以下、列挙）	種別	H　年	
放射線治療装置	種別	H　年	
放射線治療装置	種別	H　年	
放射線治療装置	種別	H　年	
その他の高額放射線医療機器（以下、列挙）	種別	H　年	
その他の高額放射線医療機器	種別	H　年	

種別は、ライナック、ガンマナイフ、等を記述してください

不足の場合以下に追加してください。

施設全体の人員配置

医師	常勤	0人
	非常勤(常勤換算)	0人
歯科医師	常勤	0人
	非常勤(常勤換算)	0人
薬剤師	(常勤換算)	0人
保健師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
助産師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
看護師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
准看護師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
看護業務補助者	(常勤換算)	0人
理学療法士	(常勤換算)	0人
作業療法士	(常勤換算)	0人
視能訓練士	(常勤換算)	0人
義肢装具士	(常勤換算)	0人
歯科衛生士	(常勤換算)	0人
歯科技工士	(常勤換算)	0人
社会福祉士	(常勤換算)	0人
介護福祉士	(常勤換算)	0人
言語聴覚士	(常勤換算)	0人
精神保健福祉士	(常勤換算)	0人
診療放射線技師	(常勤換算)	0人
診療エックス線技師	(常勤換算)	0人
臨床検査技師	(常勤換算)	0人
衛生検査技師	(常勤換算)	0人
臨床工学技士	(常勤換算)	0人
あん摩マッサージ指圧師	(常勤換算)	0人
柔道整復師	(常勤換算)	0人
栄養士	(常勤換算)	0人
その他の技術員	(常勤換算)	0人
医療社会事業従事者	(常勤換算)	0人
事務職員	(常勤換算)	0人
事務職員のうち入院業務担当者数(再掲)	(常勤換算)	0人
診療情報管理士(有資格者数)	(常勤換算)	0人
診療情報管理士のうちDPC関連業務担当者数(再掲)	(常勤換算)	0人
その他の職員	(常勤換算)	0人

部局ごとの人員配置など

病理部門医師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
放射線診断医	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
麻酔科標榜医	実人員	0人
手術部専属看護師	実人員	0人
	(常勤換算)	0人
研修医数	実人員	0人

夜間・休祭日などの人員配置

当直医数(平日一晩あたり、管理当直ならびにオンコールを除く)	平均実員数	0人
臨床検査技師(休祭日の夜間)	平均実員数	0人
放射線科技師(休祭日の夜間)	平均実員数	0人
薬剤師(休祭日の夜間)	平均実員数	0人

社会保険事務局への施設基準届出の状況（平成20年4月現在）：基本診療

該当するものについて「今回届け出」を[Yes]につけかえてください（プルダウンになっています）

No

Yes

施設基準名称	今回届出	備考：該当する施設基準通知
臨床研修病院入院診療加算	No	2
超急性期脳卒中加算	No	3
妊産婦緊急搬送入院加算	No	3の2
診療録管理体制加算	No	4
医師事務作業補助体制加算	No	4の2
緩和ケア診療加算	No	14
精神科応急入院施設管理加算	No	15
がん診療連携拠点病院加算	No	18
ハイリスク妊婦管理加算	No	22の2
ハイリスク分娩管理加算	No	23
救命救急入院料	No	第1
特定集中治療室管理料	No	2
ハイケアユニット入院医療管理料	No	3
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	No	4
新生児特定集中治療室管理料	No	5
総合周産期特定集中治療室管理料	No	6
広範囲熱傷特定集中治療室管理料	No	7
一類感染症患者入院医療管理料	No	8
特殊疾患入院医療管理料	No	9
小児入院医療管理料1	No	10
小児入院医療管理料2	No	10
小児入院医療管理料3	No	10
小児入院医療管理料4	No	10
回復期リハビリテーション病棟入院料1	No	11
回復期リハビリテーション病棟入院料2	No	11
亜急性期入院医療管理料1	No	12
亜急性期入院医療管理料2	No	12
緩和ケア病棟入院料	No	14
精神科救急入院料	No	15
精神科急性期治療病棟入院料1	No	16
精神科急性期治療病棟入院料2	No	16
精神科救急・合併症入院料	No	16の2
精神療養病棟入院料	No	17

社会保険事務局への施設基準届出の状況（平成20年4月現在）：特掲
該当するものについて「今回届け出」を[Yes]につけかえてください（プルダウンになっています）

No
Yes

名　　称	今回届出	施設基準通知
在宅療養支援病院	No	14の2
長期継続頭蓋内脳波検査	No	24
光トポグラフィー及び中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	No	25
神経磁気診断	No	26
神経学的検査	No	26の2
補聴器適合検査	No	27
画像診断管理加算1	No	30
画像診断管理加算2	No	30
画像診断管理加算（歯科診療に係るものに限る。）	No	31
遠隔画像診断	No	32
ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	No	33
CT撮影及びMRI撮影	No	34
冠動脈CT撮影加算	No	35
心臓MRI撮影加算	No	36
外来化学療法加算1	No	37
外来化学療法加算2	No	37
心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料(I)	No	38
心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No	39
脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No	40
脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No	40の2
脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅲ）	No	41
運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No	42
運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No	43
呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No	44
呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No	45
難病患者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	No	46
障害児（者）ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	No	47
集団ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ療法料	No	47の2
精神科作業療法	No	48
内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方切除術に限る。）	No	58
内視鏡下椎間板摘出（切除）術（前方摘出術に限る。）、内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）	No	59
頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	No	59の2
脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	No	60
人工内耳埋込術	No	61
上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限	No	61の2
同種死体肺移植術	No	62
生体部分肺移植術	No	62の2
経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管ｱﾃﾚｸﾄﾐｰｶﾃｰﾃﾙ によるもの）	No	63
経皮的中隔心筋焼灼術	No	64
ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及びﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術	No	65
両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及び両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術	No	66
埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術	No	67
両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き埋込型除細動器移植術及び両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ 機能付き埋込型除細動器交換術	No	67の2
大動脈ﾊﾞﾙｰﾝﾊﾟﾝﾋﾟﾝｸﾞ法（ IABP法）	No	68
補助人工心臓	No	69
埋込型補助人工心臓	No	70
同種心移植術	No	71
同種心肺移植術	No	72
体外衝撃波胆石破砕術	No	73
生体部分肝移植術	No	74
同種死体肝移植術	No	75
同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	No	76
腹腔鏡下小切開副腎摘出術	No	76の2
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	No	77
腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	No	77の2
同種死体腎移植術	No	77の3
生体腎移植術	No	77の4
焦点式高ｴﾈﾙｷﾞｰ超音波療法	No	77の5
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	No	78
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	No	78の2
医科点数表第2章第10 部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	No	79

輸血管理料Ⅰ	No	80
輸血管理料Ⅱ	No	80
歯周組織再生誘導手術	No	80の2
麻酔管理料	No	81
放射線治療専任加算	No	82
外来放射線治療加算	No	82の2
高ｴﾈﾙｷﾞｰ放射線治療	No	83
強度変調放射線治療(IMRT)	No	83の2
直線加速器による定位放射線治療	No	84
ﾃﾚﾊﾟｿﾛｼﾞｰによる術中迅速病理組織標本作製	No	84の2
後発医薬品調剤体制加算	No	89
保険薬局の無菌製剤処理加算	No	90

入力状況確認シート

基本情報		施設名	0
		病院コード（10桁）	0
設備	診療基本情報	外来患者数（2008年9月一ヶ月の実績）	0
		院外処方箋の発行率（%）	0
		分娩数（2007年4月～2008年3月実績）	0
	病院指定関連など	1　地域医療支援病院	いいえ
		2　災害拠点病院	いいえ
		3　がん診療連携拠点病院	いいえ
		4　開放型病院	いいえ
		5　特定承認保険医療機関	いいえ
		6　特殊疾患入院施設又は	いいえ
		7　老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院	いいえ
		8　緩和ケア病棟を有する病院	いいえ
		救急告示の有無	なし
	救急医療体制　（複数回答可）	1　初期	いいえ
		2　二次	いいえ
		3　三次（救命救急センター）	いいえ
	許可病床数	精神病床	0
		感染症病床	0
		結核病床	0
		療養病床	0
		一般病床	0
		合　　計	0
		特例許可老人病床（再掲）	0
		特例許可老人病床以外の老人病床（再掲）	0
		療養型病床群（再掲）	0
	特殊病床・治療施設の状況	特定集中治療室	0
		新生児特定集中治療室＊	0
		ハイケア・ユニット（HCU）	0
		母体・胎児集中治療室	0
		広範囲熱傷特定集中治療室	0
		無菌治療室（手術室は除く）	0
		放射線治療病室	0
		理学療法室	3．無し
		作業療法室	3．無し
		精神科作業療法室	3．無し
		精神科デイ・ケア室又は	3．無し
		精神科ナイト・ケア室	3．無し
		重度痴呆患者デイ・ケア室	3．無し
		全身麻酔可能な手術室（外来手術室を除く）	0
		外来化学療法加算のある外来化学療法室	0
	高額治療装置の配備状況	全身麻酔管理機器	0
		体外衝撃波結石破砕装置	0
		人工透析装置	0
		IABP駆動装置	0
		人工心肺装置	0
		補助人工心臓・左室補助循環装置	0
		胸腔・腹腔鏡手術用モニター	0
	レセ電の提出状況	外来	3．その他
		DPC入院	3．その他
		一般入院	3．その他
	その他設備の状況	救急搬送用ヘリポート（着陸搬送可能）	設置なし
		（「あり」の場合　平成19年度使用実績件数（訓練を除く）	0
高額装置	CT	CT1性能	

CT1導入年度	
CT1患者数	0
CT2性能	
CT2導入年度	
CT2患者数	0
CT3性能	
CT3導入年度	
CT3患者数	0
CT4性能	
CT4導入年度	
CT4患者数	0
CT5性能	
CT5導入年度	
CT5患者数	0
CT6性能	
CT6導入年度	
CT6患者数	0
CT7性能	
CT7導入年度	
CT7患者数	0
IVR/CT導入年度	
IVR/CT患者数	0
治療計画用CT導入年度	
治療計画用CT患者数	0
MRI1性能	
MRI1導入年度	
MRI1患者数	0
MRI2性能	
MRI2導入年度	
MRI2患者数	0
MRI3性能	
MRI3導入年度	
MRI3患者数	0
MRI4性能	
MRI4導入年度	
MRI4患者数	0
MRI5性能	
MRI5導入年度	
MRI5患者数	0
MRI6性能	
MRI6導入年度	
MRI6患者数	0
SPECT1性能	
SPECT1導入年度	
SPECT1患者数	0
SPECT2性能	
SPECT2導入年度	
SPECT2患者数	0
SPECT3性能	
SPECT3導入年度	
SPECT3患者数	0
SPECT4性能	
SPECT4導入年度	
SPECT4患者数	0
SPECT5性能	
SPECT5導入年度	

		SPECT5患者数	0
		PET1性能	
		PET1導入年度	
		PET1患者数	0
		PET2性能	
		PET2導入年度	
		PET2患者数	0
		PET3性能	
		PET3導入年度	
		PET3患者数	0
		血管造影装置1性能	
		血管造影装置1導入年度	
		血管造影装置1患者数	0
		血管造影装置2性能	
		血管造影装置2導入年度	
		血管造影装置2患者数	0
		血管造影装置3性能	
		血管造影装置3導入年度	
		血管造影装置3患者数	0
		放射線治療装置1種別	
		放射線治療装置1導入年度	
		放射線治療装置1患者数	0
		放射線治療装置2種別	
		放射線治療装置2導入年度	
		放射線治療装置2患者数	0
		放射線治療装置3種別	
		放射線治療装置3導入年度	
		放射線治療装置3患者数	0
		放射線治療装置4種別	
		放射線治療装置4導入年度	
		放射線治療装置4患者数	0
		その他の高額放射線医療機器1種別	
		その他の高額放射線医療機器1導入年度	
		その他の高額放射線医療機器1患者数	0
		その他の高額放射線医療機器2種別	
		その他の高額放射線医療機器2導入年度	
		その他の高額放射線医療機器2患者数	0
人員配置		医師常勤	0
		医師非常勤	0
		歯科医師常勤	0
		歯科医師非常勤	0
		薬剤師	0
		保健師実員	0
		保健師常勤換算	0
		助産師実員	0
		助産師常勤換算	0
		看護師実員	0
		看護師常勤換算	0
		准看護師実員	0
		准看護師常勤換算	0
		看護業務補助者	0
		理学療法士	0
		作業療法士	0
		視能訓練士	0
		義肢装具士	0
		歯科衛生士	0

		歯科技工士	0
		社会福祉士	0
		介護福祉士	0
		言語聴覚士	0
		精神保健福祉士	0
		診療放射線技師	0
		診療エックス線技師	0
		臨床検査技師	0
		衛生検査技師	0
		臨床工学技士	0
		あん摩マッサージ指圧師	0
		柔道整復師	0
		栄養士	0
		その他の技術員	0
		医療社会事業従事者	0
		事務職員	0
		事務職員のうち入院業務担当者数(再掲)	0
		診療情報管理士(有資格者数)	0
		診療情報管理士のうちDPC関連業務担当者数(再掲)	0
		その他の職員	0
		病理部門医師実員	0
		病理部門医師常勤換算	0
		放射線診断医実員	0
		放射線診断医常勤換算	0
		麻酔科標榜医	0
		手術部専属看護師実員	0
		手術部専属看護師常勤換算	0
		研修医	0
		当直医数(平日一晩あたり、管理当直ならびにオンコールを除く)	0
		臨床検査技師(休祭日の夜間)	0
		放射線科技師(休祭日の夜間)	0
		薬剤師(休祭日の夜間)	0
施設基準基本		臨床研修病院入院診療加算	No
		超急性期脳卒中加算	No
		妊産婦緊急搬送入院加算	No
		診療録管理体制加算	No
		医師事務作業補助体制加算	No
		緩和ケア診療加算	No
		精神科応急入院施設管理加算	No
		がん診療連携拠点病院加算	No
		ハイリスク妊婦管理加算	No
		ハイリスク分娩管理加算	No
		救命救急入院料	No
		特定集中治療室管理料	No
		ハイケアユニット入院医療管理料	No
		脳卒中ケアユニット入院医療管理料	No
		新生児特定集中治療室管理料	No
		総合周産期特定集中治療室管理料	No
		広範囲熱傷特定集中治療室管理料	No
		一類感染症患者入院医療管理料	No
		特殊疾患入院医療管理料	No
		小児入院医療管理料1	No
		小児入院医療管理料2	No

		小児入院医療管理料3	No
		小児入院医療管理料4	No
		回復期リハビリテーション病棟入院料1	No
		回復期リハビリテーション病棟入院料2	No
		亜急性期入院医療管理料1	No
		亜急性期入院医療管理料2	No
		緩和ケア病棟入院料	No
		精神科救急入院料	No
		精神科急性期治療病棟入院料1	No
		精神科急性期治療病棟入院料2	No
		精神科救急・合併症入院料	No
		精神療養病棟入院料	No
施設基準・特掲		在宅療養支援病院	No
		長期継続頭蓋内脳波検査	No
		光トポグラフィー及び中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	No
		神経磁気診断	No
		神経学的検査	No
		補聴器適合検査	No
		画像診断管理加算1	No
		画像診断管理加算2	No
		画像診断管理加算（歯科診療に係るものに限る。）	No
		遠隔画像診断	No
		ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	No
		CT撮影及びMRI撮影	No
		冠動脈CT撮影加算	No
		心臓MRI撮影加算	No
		外来化学療法加算1	No
		外来化学療法加算2	No
		心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料(I)	No
		心大血管疾患ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No
		脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No
		脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No
		脳血管疾患等ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅲ）	No
		運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No
		運動器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No
		呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅰ）	No
		呼吸器ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料（Ⅱ）	No
		難病患者ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	No
		障害児（者）ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ料	No
		集団ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ療法料	No
		精神科作業療法	No
		内視鏡下椎弓切除術、内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方切除術に限る。）	No
		内視鏡下椎間板摘出（切除）術（前方摘出術に限る。）、内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）	No
		頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）	No
		脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	No
		人工内耳埋込術	No

		上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）	No
		同種死体肺移植術	No
		生体部分肺移植術	No
		経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管ｱﾃﾚｸﾄﾐｰｶﾃｰﾃﾙによるもの）	No
		経皮的中隔心筋焼灼術	No
		ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及びﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術	No
		両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ移植術及び両心室ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ交換術	No
		埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術	No
		両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き埋込型除細動器移植術及び両室ﾍﾟｰｼﾝｸﾞ機能付き埋込型除細動器交換術	No
		大動脈ﾊﾞﾙｰﾝﾊﾟﾝﾋﾟﾝｸﾞ法（IABP法）	No
		補助人工心臓	No
		埋込型補助人工心臓	No
		同種心移植術	No
		同種心肺移植術	No
		体外衝撃波胆石破砕術	No
		生体部分肝移植術	No
		同種死体肝移植術	No
		同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	No
		腹腔鏡下小切開副腎摘出術	No
		体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	No
		腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術	No
		同種死体腎移植術	No
		生体腎移植術	No
		焦点式高ｴﾈﾙｷﾞｰ超音波療法	No
		腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	No
		腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	No
		医科点数表第2章第10 部手術の通則5及び6（歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。）に掲げる手術	No
		輸血管理料Ⅰ	No
		輸血管理料Ⅱ	No
		歯周組織再生誘導手術	No
		麻酔管理料	No
		放射線治療専任加算	No
		外来放射線治療加算	No
		高ｴﾈﾙｷﾞｰ放射線治療	No
		強度変調放射線治療（IMRT）	No
		直線加速器による定位放射線治療	No
		ﾃﾚﾊﾟｿﾛｼﾞｰによる術中迅速病理組織標本作製	No
		後発医薬品調剤体制加算	No
		保険薬局の無菌製剤処理加算	No

厚生労働省保険局医療課

H20.10.3 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会
DPC分科会 机上配布資料３

ＤＰＣ対象病院における明細書の発行について

１　経緯

平成２０年度診療報酬改定の項目として、平成２０年２月１３日における中央社会保険医療協議会において、「ＤＰＣ対象病院については、入院中に使用された医薬品及び行われた検査について、その名称を付記することが望ましい」と決定された。(別紙参照)

２　実施時期

「ＤＰＣレセプト提出時における包括部分に係る診療行為内容の添付」と同時期とする。

３　明細書の内容

入院中に使用された医薬品及び行われた検査の名称を記載。

４　その他

○　医薬品及び検査の名称の付記については、「付記することが望ましい」とするものである。

○　明細書の発行に要する費用を患者に対して請求することは可能。

※　実質的に明細書の入手の妨げとなるような料金の設定はできないこととされている。

別紙

～平成２０年２月１３日　中医協総会資料より～

【Ｉ－１（医療費の内容の情報提供について）－①】

明細書の発行の義務化及び電子化加算の見直し

第１　基本的な考え方

１　保険医療機関及び保険医療養担当規則の改正

レセプトオンライン化が義務化され、個別の診療報酬点数の算定項目の分かるレセプト並みの明細書を、即時に発行できる基盤が整うこととなる医療機関※1については、患者からの求めがあった場合には、明細書の発行を義務付ける※2。その際、ＤＰＣ対象病院においては、レセプト提出時に包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報が添付されることと合わせ、入院中に使用された医薬品及び行われた検査について、その名称を付記することが望ましい。明細書の発行の際、費用徴収を行う場合にあっても、実質的に明細書の入手の妨げとなるような料金を設定してはならない。

※１　具体的な医療機関の範囲（平成２０年度よりレセプトオンライン化が義務付けられる医療機関と同様）

①　医療法上の許可病床数が４００床以上の医療機関であること

②　レセプト電算システムが導入されていること

※２　レセプト並みの明細を記載した領収書が発行された場合には、明細書が発行されたものとして取り扱う（別に明細書を発行する必要はない。）。

２　電子化加算（初診料への加算）

レセプトオンライン化の義務化の進捗状況を踏まえ、オンライン請求の基盤が整いつつあると見込まれる医療法上の許可病床数が４００床以上の病院については、電子化加算の役割が終了したことから、同加算の算定対象外とする。

第２　具体的な内容

１　保険医療機関及び保険医療養担当規則の改正

第１の１※に該当する保険医療機関は、患者から求められたときは、診療費用の計算の基礎となった項目ごとに記載した明細書を交付しなければならない旨を規定する

２　電子化加算

［算定要件］

４００床以上の病院は電子化加算の算定対象外とする

［施設基準］

患者から求めがあった時に、算定した診療報酬の区分・項目の名称及びその点数又は金額を記載した詳細な明細書を交付する体制を整えていることを選択要件にして、電子化加算の施設基準を届け出ている保険医療機関について、明細書を交付する旨を掲示することを規定する

H20.10.3 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会
DPC分科会 机上配布資料４

DPCレセプト提出時における包括部分に係る診療行為内容の添付について

厚生労働省保険局医療課

1　経緯

平成20年度診療報酬改定の項目として、平成20年2月13日における中央社会保険医療協議会において、DPC対象病院については、DPCにおける診療報酬明細書の提出時に、包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報を加えることが決定。

～平成20年2月13日　中医協総会資料より～

【Ⅱ—1（質の高い効率的な入院医療の推進について）－DPCに係る制度運用の改善

第1　基本的な考え方

DPCに関しては、現在360病院が対象となっているが、平成18年度DPC準備病院のうち、平成18年度基準及び新たな基準を満たした病院についてDPCの対象とする。

また、DPCの診療報酬については、適切な算定ルール等を導入すること等の制度運用の改善を図る。

第2　具体的な内容

（中略）

2　算定ルール及び診断群分類の見直しについて

(1) 算定ルールの見直しについて

ア　（略）

イ　DPCにおける診療報酬明細書の提出時に、包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報も加える。

2　実施方法及び実施時期

各医療機関の診療データよりコーディングの確認に必要なデータ（以下「コーディングデータ」という。）を抽出し、将来的にオンライン請求が可能な様式にして、レセプトとは別に電子媒体にて提出

○　平成21年1月診療分より実施予定

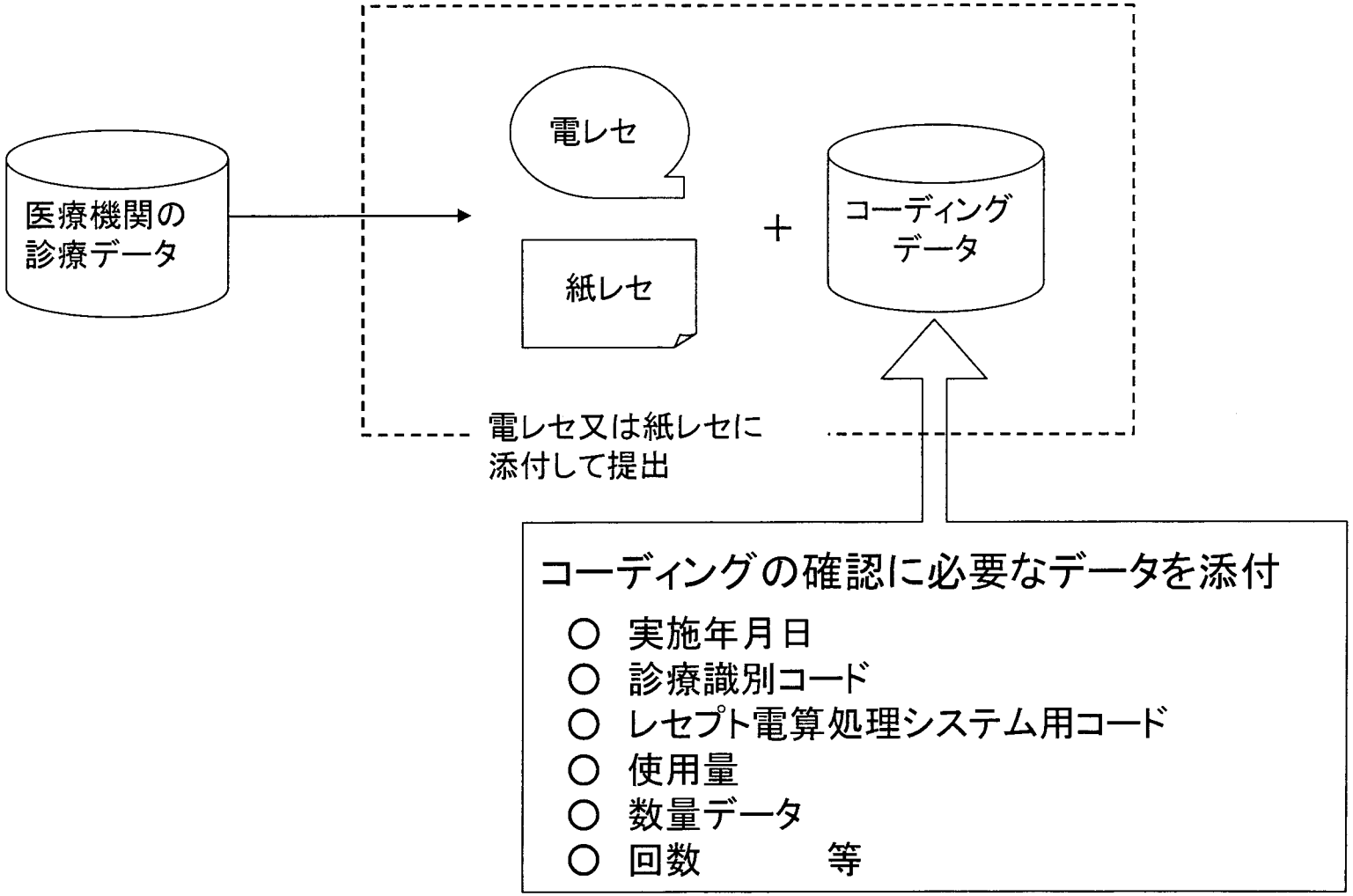
○　今回の取扱いは適切なコーディングの確認にのみ活用する

○　医療機関におけるコスト及び事務負担が軽減されるよう、1入院期間ではなく、レセプトの診療月のみのコーディングデータとする

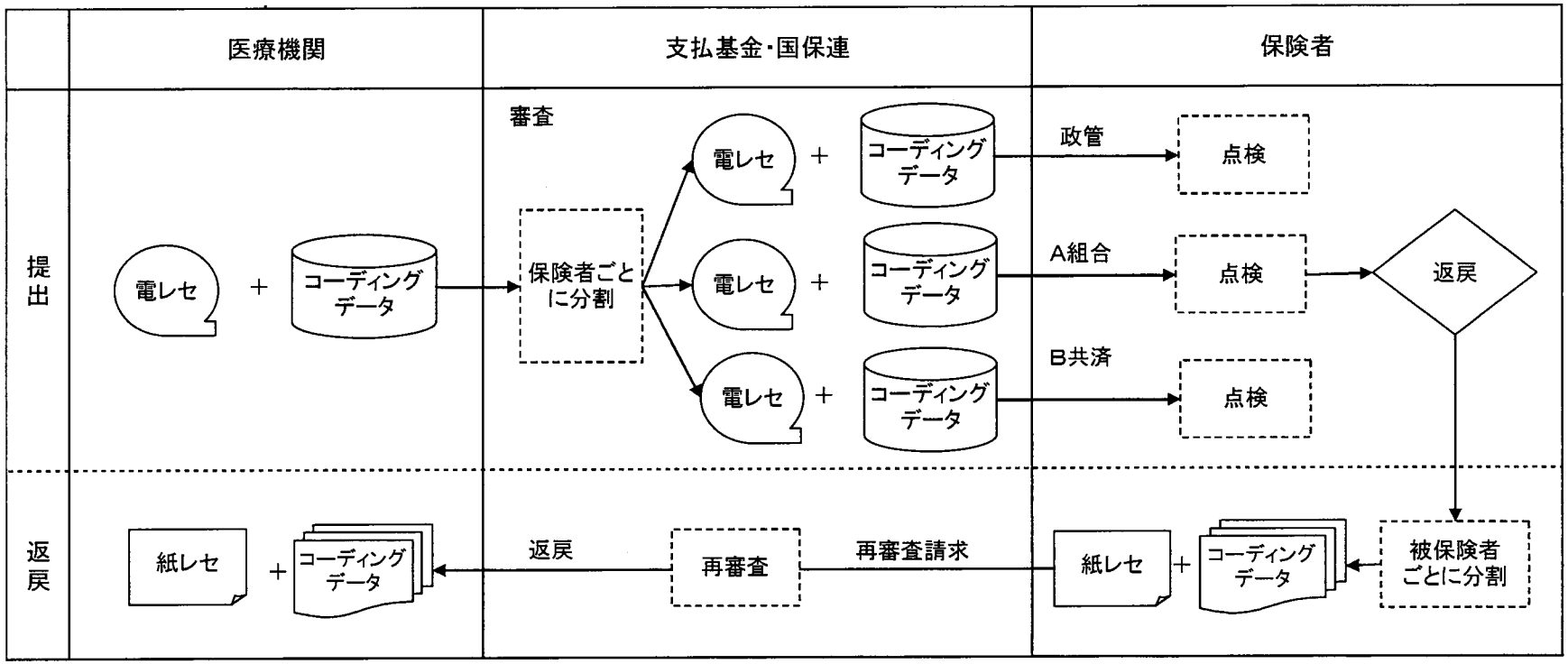
※　次回診療報酬改定時に直近3ヶ月分のコーディングデータとすることを検討

○　次回診療報酬改定（平成22年度改定）時にコーディングデータもオンライン請求で行うことを検討

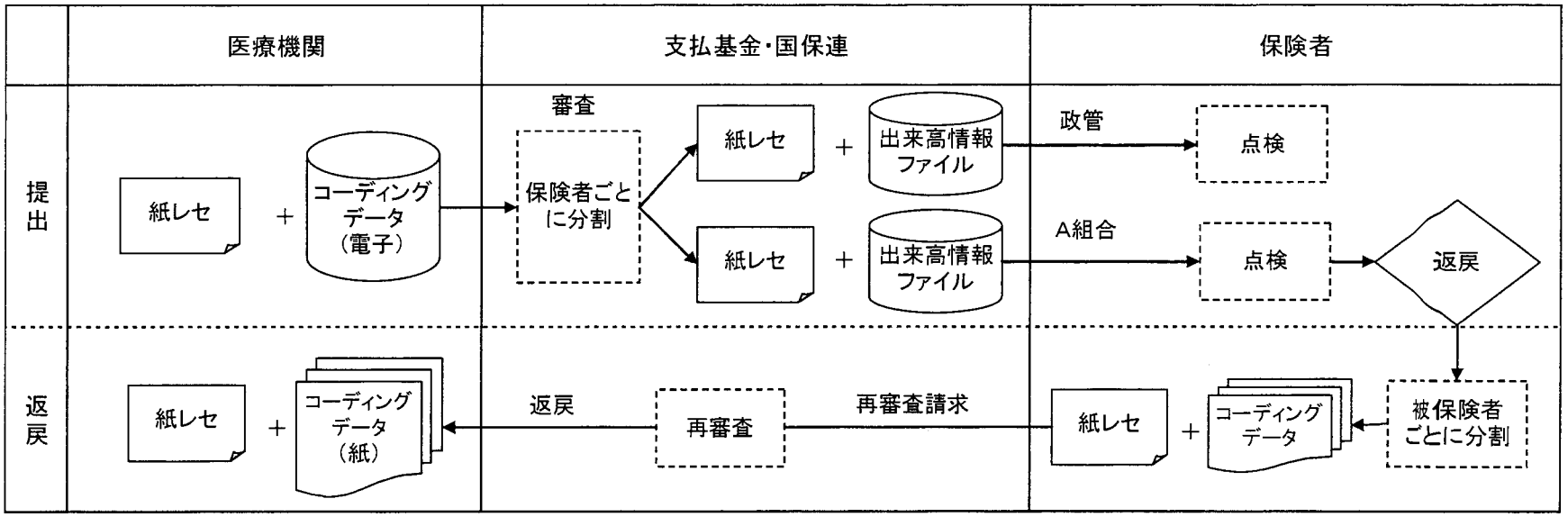
出来高情報の添付について



出来高情報ファイルを添付したレセプト提出・返戻の流れ
（レセプト電算処理システムにより請求する場合）



出来高情報ファイルを添付したレセプト提出・返戻の流れ（紙レセプトにより請求する場合）



DPCレセプトを紙にて提出している医療機関についても出来高情報は電子媒体にて提出

４　その他

○　紙レセプトの扱い

　　DPCレセプトを紙により提出している医療機関があり、支払基金又は国保中央会において出来高情報との突合を手作業により行うこととなる。

※　通知において、極力、オンライン又は電子媒体により請求いただくようお願いする予定

別紙

～平成２０年２月１３日　中医協総会資料より～

【Ⅱ—１（質の高い効率的な入院医療の推進について）—①】

ＤＰＣに係る制度運用の改善

骨子【Ⅱ－１－(1)(2)】

第１　基本的な考え方

ＤＰＣに関しては、現在３６０病院が対象となっているが、平成１８年度ＤＰＣ準備病院のうち、平成１８年度基準及び新たな基準を満たした病院についてＤＰＣの対象とする。

また、ＤＰＣの診療報酬については、適切な算定ルール等を導入すること等の制度運用の改善を図る。

第２　具体的な内容

１　ＤＰＣ対象病院の拡大について

(1) 平成１９年度ＤＰＣ対象病院の基準として、平成１８年度基準のほかに、２年間の適切なデータの提出及び（データ／病床）比が１０ヶ月で８．７５以上という要件を加える。

(2) 平成２０年度に新たにＤＰＣの対象となる医療機関は平成１８年度ＤＰＣ準備病院（３７１病院）のうち、基準を満たしたものとする。

(3) 平成１９年度ＤＰＣ準備病院については、平成２１年度にＤＰＣの対象とすべきか検討することとするが、その基準は、その時点におけるＤＰＣ対象病院に適用される基準と同じものとする。

２　算定ルール及び診断群分類の見直しについて

(1) 算定ルールの見直しについて

ア　３日以内の再入院については、１入院として取り扱う等の算定ルールの見直しを行う。

イ　ＤＰＣにおける診療報酬明細書の提出時に、包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報も加える。

(2) 診断群分類の見直し等について

ア　ＭＤＣ１６（外傷・熱傷・中毒、精神、その他）をＭＤＣ１６（外傷・熱傷・中毒）、ＭＤＣ１７（精神疾患）及びＭＤＣ１８（その他）に分割する。

イ　診断群分類の分岐については、がん化学療法の主要な標準レジメンで分岐を行うことなどの精緻化を行う一方、類似疾病の発症部位等による分岐を整理するなど簡素化を行う。